

人と人をつなげるジェネレーター

西粟倉村あわくら会館(岡山県)



やってみん掲示板



村民講師企画「プログラミング講座」

公民館の沿革・年表

- 平成24年 基幹施設建設事業 基本構想・条件整理
- 平成29年 プロポーザル・施設設計開始
 - ・村民ワークショップ開催 (4回)
 - ・生涯学習施設活用検討委員会 (6回)
- 令和2年4月 生涯学習エリア 開館
- 令和3年2月 第4回公民館職員が選ぶ! 講座アワード
グランプリ受賞 (村民講師企画)
- 令和3年10月 木材利用優良施設コンクール
内閣総理大臣賞受賞

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- やってみん掲示板
掲示板内で交流しながら、イベントや活動が実現していく。深いつながりが無い村民同士が共通の趣味や興味でつながり村民の、生きるを楽しむ活動の可能性を広げることが目的。音楽を一緒に楽しむ個人企画では、施設外を会場にして集まる企画へ発展している。
- 村民講師
村民が仕事・特技・好きなことや趣味を生かし、講師となる。村民の多様な体験機会が増え、好きなことや趣味を見つけたり、広げたりすることができる。写真は地域おこし協力隊によるプログラミング講座の様子。小学生から70代と多世代が参加している。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1318人	4. 利用可能時間	08:30~22:00	
		2. 建物設置年月日	令和2年4月5日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
3. 開館日数	338日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	500台			
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (<input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1045人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	7422人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	344人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	13625人	(図書館利用、テレワーク等)			合計 22,436人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	4人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	2人
	(職員のうち社会教育士の数 0人)		(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
		合計 6人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (西粟倉村社会教育委員会)					
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 地域防災・減災	<input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 体験活動		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語教育の推進	<input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援		
<input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動	<input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動	<input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援			
<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 社会人の学び直し			
<input type="checkbox"/> その他	()					
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター		
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	役場庁舎			
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学		
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他			
(西粟倉村文化協会、一般社団法人Nest、一般財団法人むらまると研究所)						

西粟倉村あわくら会館

OPEN 10:00~18:00
TEL 0868-79-2116

H P <https://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/wp/awakurakaikan/>
SNS <https://www.instagram.com/awakurakaikan?igsh=MWVvZmZpb3MwMXhpMA==>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

2006年から林業の6次化等から、ローカルベンチャーの増殖を推進してきた。これまで60以上の事業が生まれ、人口約1,300人の村で200人を超える特に20代～40代の若い移住者が村内で多様なチャレンジを行っている。

その中、地元出身者と移住者のつながりの場が少なく、それぞれのコミュニティが形成。村民同士のがながりが課題であった。また、人口の少ない村では、村民が好きなことや趣味を見つけ、広げ、深めるための多様な機会をつくることも課題であった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【やってみん掲示板・村民講師（地域資源を活用したまちづくり）】

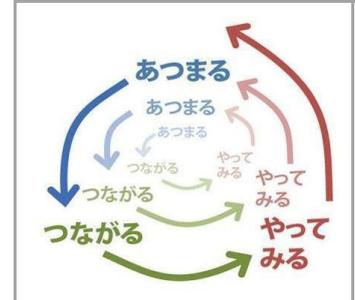
あわくら会館の施設ビジョン『あつまる、つながる、やってみる、』は、村民が「あつまって、つながったから、やってみる。」「つながって、やってみたら、あつまった。」「やってみて、あつまったから、つながれた。」が持続的に循環していることを目指している。

あわくら会館では、村民が主体的に生涯学習活動を創造することで、地域ニーズに合った地域リソースなどの活用が増え、持続可能な運営となることでより持続可能な運営を目指した。スタッフは村民の「やってみたい」を一緒になって面白がり、創造の連鎖が起こるように関わる「ジェネレーター」として、企画化をサポートしている。

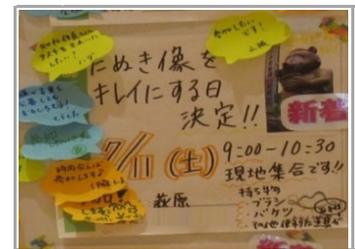
やってみん掲示板は、「イベントやります」「一緒にやりませんか？」「情報知りませんか？」をテーマに投稿できる。アナログ版X（旧Twitter）をイメージし、掲示板内で交流しながらイベントや活動が実現していく。深いつながりがない村民同士が共通の趣味や興味でつながり村民の「生きるを楽しむ」活動の可能性を広げることが目的。

村民講師は、村民が仕事・特技・好きなことや趣味を生かし、講師となる。村民の多様な体験機会が増え、好きなことや趣味を見つけたり、広げたりすることができる。村民講師は自分を知ってもらうことで、地域の協力や後押しを受け取組の広がりができる。また、自らの事業の試す場になることでWin-Winでフラットな関係でつながる場としている。

共にスタッフは企画の広報や実現可能にするためのヒアリングを行っている。このように伴走をスタッフの役割としたつながり作りや多様な機会の創出の仕組みとしている。



施設ビジョンのイメージ図



やってみん掲示板企画

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

あわくら会館では、自由な使い方を創り出せる施設として、貸館は村民であれば無料。さらに、施設の使い方を利用者が考え、利用できるよう貸館ルールは最小限にしており、利用方法の問い合わせに対して、可能となる方法をスタッフが一緒に検討していく「空間的サポート」により活動をサポートしている。

さらに、知りたい情報を知ることができる施設として、人が持つ情報は、村民の活動を広げるために重要であり、スタッフは情報が集まってくるハブの役割を担っている。全館ワークスペース利用可能とし、仕事やプライベートにおける様々な「やってみたい」に化学反応が生まれる場所になっている。



村民主催企画チラシ

4. 取組による成果や効果

令和6年度の企画数120件、延べ参加者数1,389人の実績の内、村民企画は57件と実施企画の半数となっている。

このような、地域ニーズでの運営、地域性や地域課題解決を組み合わせた取り組みを継続してきたことで毎年、年間延べ21,000人を超える来館者数となっている。（人口：1,300人）

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

取組を評価・検証するため、施設ビジョンにあわせた評価指標を立てている。「あつまる」では館内サービス利用者数。「つながる」ではスタッフがつながりのコーディネート件数。「やってみる」では利用者が参画した企画数をもとに評価を行っている。

各取組においてもアンケートを実施。アンケートの結果は上記の評価指標と連動したのとなっており、アンケート回収率も90%を目指している。

この評価指標を毎月の教育委員会との定例会にて共有し、データから仮説とアクションについて協議するとともに西栗倉村社会教育委員会の会議にて意見徴収を行っている。

観測	指標	アクション
データから見た課題	データから見た課題	次の行動
【目標あり】館内サービス利用者数が増えること（2024年10月～2025年3月）	本館にはなるべく館内サービス利用者が増えること（2024年10月～2025年3月）	本館のサービスは本館のサービスでできるものは本館で実施し、本館でできないものは外部に委託する。
【目標なし】利用者がつながる機会が増えること（2024年10月～2025年3月）	本館にはなるべく館内サービス利用者が増えること（2024年10月～2025年3月）	利用者がつながる機会を増やすこと（2024年10月～2025年3月）
【目標あり】村民講師の数が増えること（2024年10月～2025年3月）	村民講師の数は増えること（2024年10月～2025年3月）	村民講師の数は増えること（2024年10月～2025年3月）

定例会評価指標資料

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

「村民ジェネレーターの多発」

自由な使い方を創り出せる施設「空間的サポート」を運営から、スタッフがジェネレーターとして、村民の個人企画をサポートしてきた。次のフェーズでは、村民がジェネレーターとなり、村民同士がサポートをし合いながら多様な企画が多発していることを目指したい。



村民講師企画

集い、学び、つながる、坂の上の公民館

広島市早稲田公民館(広島県)



防災クッキング(友楽タイム)



かまどベンチでの炊き出し訓練

公民館の沿革・年表

- 平成14年 早稲田公民館開設、公民館運営委員会設置
友楽タイム実行委員会発足
第1回友楽タイム(初年度月1回)
- 平成15年 第1回早稲田ふれあいまつり(公民館まつり)
- 平成21年~友楽タイム雪あそびを実施
- 令和3年 地域防災プラットフォーム設置
- 令和5年~公民館に隣接する公園を防災公園として、早稲田学区自主防災連絡協議会が整備し、かまどベンチなど設置
早稲田ふれあいまつりで炊き出し訓練として活用

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 地域団体で構成する早稲田学区社会福祉協議会を中心に団体間の結びつきが強い地域で、公民館もその一員である。多くの事業は、地域団体が主体となり公民館が共催・協働して実施している。
- 写真上は、友楽タイムにおいて、子供たちの防災意識を高めるため、防災士と防災クッキングを行っている様子。
- 写真下は、早稲田ふれあいまつりにおいて、公民館に隣接する公園を防災公園として整備する一環で作ったかまどベンチで、炊き出し訓練をしている様子。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5842人	4. 利用可能時間	8:30~22:00
		2. 建物設置年月日	平成14年7月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		3. 開館日数	293日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	1台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財) 広島市文化財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2,135人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 21,895人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,982人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 23,791人 ()				合計 51,803人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人)				合計 4人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (早稲田公民館運営委員会)				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・ディバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 (平和教育、国際理解、男女共同参画社会対応、環境教育等)				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (牛田山の中腹の住宅地内にあり、学習環境に恵まれている。)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (早稲田小学校・同PTA、早稲田中学校・同PTA、広島女学院大学、広島女学院ゲース幼稚園、東区役所、早稲田学区社会福祉協議会、同自主防災連絡協議会、早稲田女性会ほか)				

広島市早稲田公民館

OPEN 8:30~22:00 H P <http://www.cf.city.hiroshima.jp/waseda-k/>
TEL 082-502-1239



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 起伏・坂道の多い地形でエリア内には100m以上の高低差があり、移動手段が徒歩に限られ、子供たちは学校以外での外出には制約がある。一方で学校週5日制以降、小中学生が週末を有意義に過ごすことが求められていた。
- 平成26年3月、子ども会が少子化と保護者の負担増により解散し、地域の教育力の低下が懸念され、地域が一体となって子供を育てる取組が求められていた。
- 牛田山の南側山麓にできた住宅地域で、土砂災害などの警戒を要する地域である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【友楽タイム ～おいでよ わせだっ子～（子供の体験活動）】

小・中学生が週末を有意義に過ごすことが求められる中、平成14年9月に学区の青少年健全育成連絡協議会を始めとする5団体と当公民館で友楽タイム実行委員会を発足させ、土曜日を中心に様々な体験活動の機会を提供してきた。その後、小・中学校PTAを含む8団体も実行委員会に加わり、さらに地域が一体となった取組となった。「友楽タイム」のネーミングは、小学校の児童が考案した。



焼きいも大会(友楽タイム)



防災ロビー展示

【地域防災活動の推進 “日常に「+防災」を”（地域防災・減災）】

平成26年の広島土砂災害や学区内が被災した平成30年の西日本豪雨災害を経験したことから、早稲田学区自主防災連絡協議会が中心となり、令和3年に全国初となる公民館を含む関係機関が日常的につながる「早稲田学区地域防災プラットフォーム」を設置した。令和4年に「わせだ防災プラン」を策定、令和5年に広島市の地域防災計画をもとに本市初となる「早稲田学区地区防災計画」を策定するなど、先進的に地域防災活動を推進している。

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【友楽タイム ～おいでよ わせだっ子～（子供の体験活動）】

モルックや雪あそび（あったか冬まつり）、防災講座など様々な企画を実施し、幅広い体験活動の場を提供している。また、コロナ感染症が5類に移行した令和5年度以降、小学5年生からジュニアリーダーを募り（令和6年度は11人）、主体性や異年齢交流を通じた社会性の育成にも努めている。



雪あそび(あったか冬まつり)

【地域防災活動の推進 “日常に「+防災」を”（地域防災・減災）】

事業実施にあたって、常に防災を意識した事業展開を行っており、早稲田ふれあいまつりなどを実施する場合には、防災に関する企画も行うこととし、防災に関する意識啓発に努めている。

また、公民館は避難場所としても活用されており、学区内で開設される2つの避難場所のうちの1つとなっており、避難場所に必要な毛布なども常時備えている。

4. 取組による成果や効果

【友楽タイム ～おいでよ わせだっ子～（子供の体験活動）】

子供の体験活動や異年齢の子供同士が関わり合う機会が充実し、子供たちの心と体の成長が促されるとともに、地域が一体となって地域の子供を育てる経験を重ね、地域の連帯感が強まった。また、普段公民館になじみの少ない子供や保護者に公民館を身近に感じてもらい、利用者の拡大につながった。



ぼうさい運動会

【地域防災活動の推進 “日常に「+防災」を”（地域防災・減災）】

定期的な会合により地域の関係機関が相互に連携・協力し合える関係が構築された。また、当公民館が避難情報発令時の避難場所として周知され、機能が向上するなど、地域住民の防災意識の向上につながっている。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学区の15組織の代表者で構成する公民館運営委員会の委員と事業計画や結果を共有し、意見を計画に反映させている。
- 事業後に参加者アンケートを実施し、事業の改善・検証を行い、今後の事業計画につなげている。
- 毎年、来館者200人程度の満足度や意見をモニタリング調査するとともに、エリア内人口と利用者数などの数値による「公民館自己評価」を実施・検証し、その後の計画・実施に生かしている。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域コミュニティの衰退が懸念される中、課題検討組織「7つのネットワーク」（シルバーネット、防災ネットなど）や「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」（令和4年2月策定）に基づく新たな協力体制「広島型地域運営組織『ひろしまLMO（エルモ）』」（広島市初）が設置されている。公民館もその一員として、関係団体・関係機関と連携・協働しながら課題解決に取り組み、住み続けたい街、早稲田を目指していきたい。



7つのネットワーク組

茶臼山のみもと己斐上学区の「へそ」己斐上公民館へようこそ！ 広島市己斐上公民館(広島県)



外観



己斐上公民館
キャラクター
こいうえさま

公民館の沿革・年表

- ・平成4年 広島市己斐上公民館開館
- ・平成4年 主催事業「いきいき生涯大学」開始
- ・平成10年 主催事業「ジュニアリーダー研修会」開始
- ・平成12年 主催事業「ボンパス写真大会」開始
- ・平成15年 主催事業「つくってたべようおいしいごはん」開始
- ・平成16年 主催事業「食育ボランティア養成講座」
- ・平成17年 己斐上食育にこにこ隊の結成
- ・平成30年 主催事業「図書ボランティア養成講座」



公民館まつり

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

公民館の外観はガラス張りのデザインとなっており、地域のランドマーク的な建物となっている。敷地内では桜や紫陽花、オーシャンブルーなど季節ごとに様々な花が咲き、訪れる人の心を和ませ、地域の散歩コースの定番となっている。

公民館まつりでは毎年地域の木遣り同好会の方に神輿を制作いただき、オープニングセレモニーで地域のこどもたちが担ぐことが恒例となっている。主催事業では、健康なまちづくり、己斐上を花で飾ろうなど地域団体との共催で行う事業も多く、地域の方が主体的に公民館に関わっている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9465人	4. 利用可能時間	8:30~22:00
		2. 建物設置年月日	1992年6月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	293日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	2台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財)広島市文化財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
*地域へ活動を広げるための働きかけ…小学校・児童館や母親クラブ	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,935人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 16,616人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 13,229人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 13,027人 ()				合計 44,807人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 1人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人)				合計 4人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (己斐上公民館運営委員会)				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・ディバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 (平和教育、国際理解、男女共同参画社会対応、環境教育等)				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (地域は九つの住宅団地と田園部で構成されており、静かで穏やかな場所に公民館があり、社会教育の拠点となっている。)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ・己斐上小学校、己斐上中学校、己斐・己斐上地域包括支援センター、エイチ・ディー西広島、己斐上学区子ども会育成協議会、己斐上母親クラブ、己斐上女性会、己斐上地区民生委員協議会、己斐上学区公衆衛生推進協議会、己斐上地区青少年育成協議会、西区地域おこし推進課、己斐上児童館				

広島市己斐上公民館

OPEN 8:30~22:00 H P <http://www.cf.city.hiroshima.jp/koieue-k/>
 TEL 082-274-7814 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

取組を進めた要因・背景…朝ごはんを食べない子供が増えたり、家庭内で居場所のない子供が多かったりという声が地域から挙がっており、何とかしたいという声を受けて平成15年に主催事業「つくってたべようおいしいごはん」を開催した。

住民ニーズ・立ち上げのきっかけ…子育て・家庭教育支援の一環として取組を開始し、当初は公民館の単独での事業であったが、その後、ボランティアグループが誕生し、母親クラブをはじめ、地域団体へと活動の輪が広がり、現在は小学校・児童館・母親クラブとボランティアが連携して打ち合わせ会議や反省会を行い事業を運営している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

当初の取組

- ①保護者対象：食育講演会
- ②成人対象：食育ボランティア養成講座
- ③子供対象：子供料理教室「つくってたべようおいしいごはん」

これらの取り組みを経て、公民館の主導で行ってきていたものが、ボランティアグループの「己斐上食育にこここ隊」が誕生するとともに、地域団体からも協力の輪が広がるなどして、地域主体の取組へ変化した。

現在の活動

「己斐上食育にこここ隊」が主体となり企画・運営している。

・「つくってたべようおいしいごはん」

己斐上学区の子供を対象に食に関する必要な知識の学習機会や体験活動の提供をする。(調理と試食、火起こし等のアウトドア体験、カキ打ち体験、食材の買い出しなど)

当初、年4回だった事業を拡充して現在は年9回に増やしている。

・「地域ぐるみの食育講座」

「つくってたべようおいしいごはん」に参加する子供たちを指導・サポートするボランティアへのスキルアップや課題解決を目的として実施している。また、高齢化によるボランティアの減少を防ぐため、定期的にボランティアの発掘や、引き継ぎを行っている。



アウトドア体験



カキ打ち体験

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

・**地域へ活動を広げるための働きかけ**…小学校・児童館や母親クラブ等の地域団体に声掛けを行いそれぞれをつなげて協力を仰ぐことで現状把握や課題の洗い出しをスムーズに行い地域ぐるみでの活動となるよう働きかけた。

・**ボランティアへの働きかけ**…ボランティア養成講座を実施しボランティア団体「己斐上食育にこここ隊」が誕生した。その後もボランティア同士の交流や新規ボランティア発掘に力を入れ、義務感ではなく自発的に無理なくお互いを助け合うことを推進している。

・**運営の工夫**…調理や体験活動の際には必ず班(グループ)で行うようにし、その構成は低学年から高学年までが均等になるように注意してグループ分けを行っている。そうすることで、異学年交流が自然と生まれ、助け合いや分担など子供たち自らが考えて話し合える環境づくりを行っている。

・**次に生かすための工夫**…毎回の講座時にアンケートを取り、作りたい料理や楽しかった経験など次回に生かすための統計を取っている。



異学年交流

4. 取組による成果や効果

・**子供たちへの効果**…旬の食材や地域の食材を使うことで食べ物に対する関心や理解を深めることができるようになり、食の大切さや調理法を学ぶだけでなく、異学年の子供同士や子供とボランティアスタッフとの交流の場となり、子供の居場所づくりになっている。

・**ボランティアへの効果**…ボランティア養成講座により誕生した「己斐上食育にこここ隊」のボランティアスタッフ同士が交流を図り、知恵を出し合うことで、その後の講座に活かしている。新しいボランティアも定期的に入り、ボランティア同士で助け合い補い合える関係が築かれている。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

・**アンケート結果の共有**…毎回、講座が終わった後にボランティアスタッフが子供が書いたアンケートを読み、全員で問題点を共有し、次回の方針を考える。また3月には1年間の反省をし、次年度の計画を立てている。

・**食育会議**…5月には地域ぐるみの食育会議として小学校・児童館・母親クラブ・ボランティア合同での報告会で意見を出し合い、メニューをはじめ広報の仕方などを検証し改善を図っている。



新メニュー「うどんづくり」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

・**様々な体験活動の場の提供**…食だけにこだわらず、子供たちが家や学校ではできない体験の場を提供していきたい。夏休みなど事業回数を増やすことで、少しでも多くの子供たちが、体験を通して物事の原理を考えることや、先を予測するなど自分で考えて判断し動くことができるようになることを目標としている。

・**ボランティアの育成**…将来的に様々なボランティアとして公民館で活躍できるようなきっかけ作りを行いたい。



夏休みこどもチャレンジ講座

地域が教室、交流館が架け橋

福山市常金丸交流館(広島県)



2024年4月常金丸交流館落成式



みんなで給食!! もぐもぐ交流会

公民館の沿革・年表

- ・平成15年新市町と福山市合併
- ・令和4年常金中学校再編により新市中央中学区へ
- ・令和5年公民館から交流館へ全市名称変更
- ・令和6年常金丸交流館・小学校同時移転・共用開始

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

常金丸交流館では、学校と地域交流施設が一体となった複合施設の特徴を活かし、地域住民と児童が共に食卓を囲む「もぐもぐ交流会」を実施。

共食を通じて、世代を超えた信頼関係が築かれ、地域ぐるみで児童の育ちを支える仕組みが定着しつつある。

児童の残食も減り、意外な相乗効果が生まれている。

このように小学校と交流館が地域と児童をつなぐこの複合施設を住民や児童は「つねかねランド」と呼んでいる。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1700人	4. 利用可能時間	平日8:30~17:00	
		2. 建物設置年月日	2024年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
		3. 開館日数	297日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	127人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	3,386人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	423人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1,998人 ()	合計		5,934人	
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人) 合計 3人					
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (交流館運営委員会)					
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル・ディバイドの解消	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 体験活動		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語教育の推進	<input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動	<input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動	<input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援		
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 社会人の学び直し		
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (環境教育 (ゴミ0プロジェクト))						
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()				
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他		
	(常金丸小学校、新市中央中学校、常金丸保育所、北部地域振興課、まちづくり推進課 常金丸明るいまちづくり推進委員会、常金丸学区まちづくり推進委員会、常金丸学区福祉を高める会)					

福山市常金丸交流館

OPEN 8:30~17:00 H P tunekanemaru-kouminka@city.fukuyama.hiroshima.jp
 TEL 0847-57-8135 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

福山市新市町常金丸地区は、少子高齢化、耕作放棄地、空き家問題などの中山間地域特有の多くの課題を抱えている。とりわけ、児童・生徒数の減少は深刻で、2019年には常金中学校が学校再編計画の対象校となり、2022年には常金中学校が閉校するという転機を迎えた。その後、中学校跡地を活用し、常金丸小学校と常金丸交流館を複合化する設備整備が進められ、2024年4月複合施設として供用開始された。「地域のにぎわいが失われないように、地域とともにある学校づくり」をめざした新たなまちづくりの挑戦である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

誰でも立ち寄れる公共空間としての交流館は、これまでの小学校の体制とは異なり、地域住民と児童をつなぐ場としての役割を担っている。地域住民は、「児童と関わりたい」「児童のためにできることはないか」「気持ちよく学べる環境を整えてやりたい」と、これまで以上に複合施設としての特色を生かして活動を展開している。

毎週1回、児童と地域住民による複合施設の清掃活動

- ・ 小学校と交流館をつなぐ長い廊下を活用してのロング恵方巻きイベント
- ・ 学校の休憩時間にコンサートで交流
- ・ 児童と地域がともに行う活動、地域の魅力をドローンで撮影→Youtubeで配信

地域の人と学校給食と一緒に食べる世代間交流では、児童が地域の大人と自然に会話することで、人と関わる力や思いやりの心が育まれるとともに、地域住民にとっても、児童とのふれあいが生きがいや楽しみになっている。そして、活動を通じて、世代を超えた交流が生まれている。

児童が休憩時間に交流館スペースに立ち寄り、折り紙を楽しんだり、地域の人たちとの会話を楽しんだりするなど、児童の居場所としての役割も生まれている。交流館の講座等での活動や学びを生かして活動を行っているので、地域の人たちにとっては、交流館での学びの成果を生かす場にもなっている。児童数100人未満の小規模校だが、児童と地域、先生と住民の間に新たな信頼関係が育まれている。福山市で最も早くコミュニティスクールの導入を進め、交流館が中核となって「児童も大人も共に成長する場」として機能している。



ロング恵方巻きイベント



休憩時間にレンゲの首飾りの作り方を地

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

常金丸交流館では、学校側と連携を深めることにより、児童が在校している時間に、児童と地域住民が学校と交流館を行き来しやすいようにしている。「顔が見える」「顔が分かる」地域ならではの関係性を築くことで、信頼を育み、地域住民と児童たちが自然に顔を合わせ交流を深められるよう、居場所づくりや場の設定や活動のサポートを行っている。

交流館職員が学校と日常的に連携を行ったり、関係者の調整・連絡したりする役割を担っている。



自然に顔を合わせ交流できる場

4. 取組による成果や効果

2024年に小学校と交流館の複合施設が開設され、地域住民と児童が日常につながり新たな仕組みが実現した。住民の「児童を見守りたい」「児童と共に育みたい」との想いが、児童にも伝わり「つねかねランド」という愛称も生まれた。また、交流館に立ち寄ることで安心できる居場所ができ、休憩時間に交流館で交流し、チャイムとともに学級へ戻っていく児童もいる。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

交流館運営委員会では、取組や活動の様子等について、委員の間で共有を行っている。また、地域住民、教職員、交流館の話し合いの場を設け、児童・地域住民の反応を共有して、各活動の振り返りを行っている。今後、常金丸交流館では、地域コミュニティに大切な事業を継続し、さらに地域と児童の交流がイベントだけに終わらないよう、検証と改善の仕組みづくりを進めていく。



10年以上続くゴミプロジェクト

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

地域の高齢者や保護者、地域のまちづくり推進委員会など団体からの意見を柔軟に取り入れながら、参加しやすく、続けやすい交流のかたちをめざし、「活動を続けながら育ちあう」を取組として進めていきたい。そして、学校と地域が一体となり、児童の成長を見守り、誰もが関わられる場所としての交流館として、地域のにぎわいを維持していきたいと考えている。



毎週水曜日は地域の方が掃除に入ります

未来を担う子ども達のために Smile (笑顔) Safety (安全) Spirit (心)

周防大島町大島公民館(山口県)



「海ゴミゼロを願ってゴミ拾い」



「物資搬送(バケツ)リレー」

公民館の沿革・年表

- ・昭和36年 大島町公民館開設
- ・昭和38年 大島町公民館新築落成
はつらつ講座の開講
- ・平成9年 大島町文化センター(複合施設)の新築に伴い、公民館と図書館が統合する。

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- B G親子3S体験キャンピn周防大島の模様
3Sとは、Sea(海)Ship(船)Survival(サバイバル)をテーマに、大島商船高専の協力のもと練習船「大島丸」に親子で乗船し、海洋レクリエーション体験、海辺の環境保全として海洋ゴミに関する知識・意識の向上を図っている。この活動は夏休みの恒例行事として定着し、県外からの参加者も増えつつある。
- 防災運動会の模様
防災とスポーツを組み合わせるなど遊びの要素を取り入れた防災運動会を実施することで、楽しみながら地域住民の防災意識の向上と地域コミュニティの活性化を図ることが目的である。

公民館情報		1. 公民館対象人口	13,000人(全町)	4. 利用可能時間	8:30~22:00
		2. 建物設置年月日	昭和36年12月	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
		3. 開館日数	359日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 500人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 500人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,000人 <input type="checkbox"/> その他 300人 (新聞閲覧、居場所として等200人等)				合計 2,300人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)				合計 3人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども・若者の居場所づくり <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (周防大島町教育委員会、町内全小中学校、周防大島高等学校、大島商船高等専門学校、公益財団法人 B&G財団、柳井海上保安署、大島郡連合婦人会、山口県立大学)				

周防大島町大島公民館

OPEN 8:30~17:15 H P
TEL 0820-74-3800

<https://www.town.suo-oshima.lg.jp>

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 本館は複合施設としての「文化センター」も兼ねており、生涯学習講座だけでなく、文化芸能発表やスポーツイベント、地域コミュニティ等の場としての利用が多い。
- 本町も少子高齢化が懸念されているが、「未来を担う子どもたち」の健やかでたくましい成長を強く願っている。本町には昭和57年に「B&G海洋センター」が設置され、多くの子どもたちは海洋性体験活動に触れてきた。そこに、昨年度、教育委員会が日本財団の「海洋教育パイオニアスクールプログラム」と連携することになり、公民館活動の連携事業として海洋教育の推進に協力している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【B & G海洋センターと連携した公民館活動】

①親子3S体験キャンプ(海Sea・船Ship・サバイバルSurvival)

大島商船高専の練習船「大島丸」に親子が乗船(泊)し、海洋レクリエーション体験・海辺の安全教室や環境保全活動に協力している。

②マリンフェスティバル

親子でカヌーや海洋性レクリエーションを楽しみながら体験し、海の楽しさを学びつつ、同時に海の危険性も知り、その回避方法を学ぶ。

③大島少年の船「洋上セミナー」(子ども会育成連絡協議会主催)

町内小学校6年生を対象にした事業で、主に防災学習や海洋環境学習を行い、職員も参加協力している。

④防災運動会

自然災害が多発する近年、防災訓練の重要性が高まっているが、参加率が低い現状がある。防災とスポーツを組み合わせる工夫をした防災運動会を実施することで、地域住民の意識向上と地域コミュニティの活性化を図り、ここに公民館の役割を發揮している。

⑤海ゴミゼロフェスティバル

世界中で増え続ける海洋ゴミ問題を、身近な海辺でのクリーン活動を通して地域住民も巻き込みながら海洋ゴミの削減に取り組んでいる。

⑥障がい者スポーツの推進

障がい者と健常者が共にスポーツを楽しむ「インクルーシブスポーツクラブ」の発足(B & G大島海洋センター主催)に伴い、地域の小中学生や住民とのコーディネート役割を担い、障がい者理解を深めている。



海洋性レクを楽しむマリンフェスティバル



障がい者と健常者が共に楽しむインクルーシブスポーツ

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

- 各事業の推進に、広報・人材育成・行政との橋渡しに努め、「地域の子どもは地域で育てる」ことに一役を果たしている。
- 各事業に参加協力いただく地域団体や各機関には、共に活動する中で意見を交換し、柔軟的に実践し、次回の企画運営に活かしている。



親子3S体験キャンプin周防大島

4. 取組による成果や効果

- 各事業に地域の住民や団体の参加により、コミュニティの活性化が感じられ、広く町づくりに繋がっている。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 取組の課題や意見は、事業後のアンケートの集約で振り返っている。
- 各事業全般の内容については、より効果的で教育的なプログラムを展開するために、町内の各小中学校の学校運営協議会とも連携を深めたい。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

●周防大島町も少子高齢化、人口減少等、多くの課題を抱えている。このような中、豊かに生きるための「生涯学習」の更なる活性化を図り、「未来を担う子ども達」のために何ができるか、公民館の役割は大きいと考えている。

また、周防大島はハワイ州カウアイ島と姉妹島提携を締結しており、文化交流のある「フラ」を障がい者スポーツに取り入れることで、さらに地域住民とのつながりを、公民館を通して行うことにより、町づくり、人づくりへ展開させていきたい。



「瀬戸内のハワイ」として親しまれる「フラ」

なかとつながる、地域の拠点。

美祢市嘉万公民館(山口県)



公民館全景



きょうわいれみねの様子

公民館の沿革・年表

- ・昭和50年 共和中学校跡地に秋芳町中央公民館として開館(現在の嘉万公民館)
- ・昭和54年 夜間照明施設を設置
- ・平成20年 1市2町の合併により美祢市嘉万公民館となる。

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- イルミネーションイベント「きょうわいれみね2024」の模様
イルミネーションイベントを開催することで、“まち”や“ひと”を明るく照らすとともに、ふれあいの場を提供することを目標としています。
- 6月の公民館まつり、8月の納涼夏祭りに続く1年最後のイベントとして、12月中旬から翌年1月上旬にかけてイルミネーションを点灯します。オープニングイベントとして、音楽家による歌唱・楽器演奏を上演。実行委員会によるミニ花火大会や温かい飲食物の販売を行います。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1,089人	4. 利用可能時間	8:30~22:00			
		2. 建物設置年月日	昭和50年11月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)			
		3. 開館日数	243日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	64台			
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()							
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	536人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	1,537人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	14人	合計	3,599人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1,512人	(行政機関等)					
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 (職員のうち社会教育士の数 職員のうち社会教育主事有資格者の数) 合計 2人							
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()							
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災	<input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 体験活動				
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語教育の推進	<input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援				
	<input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動	<input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動	<input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援				
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 社会人の学び直し				
	<input type="checkbox"/> その他 ()							
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()						
	<input type="checkbox"/> 自由記述	()						
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学				
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関				
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
	(秋芳桂花保育園、秋芳桂花小学校、秋芳中学校、美祢市立図書館、美祢市社会福祉協議会、嘉万地区子ども会、地域食堂ふらっと、ボランティア厚東川、共和桂花会、美祢市福祉課、美祢市教育委員会)							

美祢市嘉万公民館

OPEN 8:30~17:15 H P <https://www2.city.minami.lg.jp/soshiki/kyoiku/shogaigakushu/voyaku/kominkan/1069.html>
 TEL 0837-64-0001 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

公民館が所在する地域では、少子高齢化や人口減少が進んでいる。公民館の利用者は高齢者が主で、子どもを含め若年層の利用はほとんどない。また、公民館が位置する地域には、子どもから高齢者までの全世代が交流することができる施設・場所がなく、地域のつながりの希薄化が感じられていた。

そこで、『住民が集い、交流や協力し、何かを達成する場＝“全世代の交流拠点”』として機能することを目指し、各種活動に取り組んだ。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

①イルミネーションイベント「きょうわイルミネ」

12月下旬～1月上旬に、“まち”や“ひと”を明るく照らすとともに、ふれあいの場を提供することを目的に、公民館をメイン会場に、周辺の地区・個人宅にイルミネーションを設置・点灯するイベントを開催。イルミネーション設置作業は、イベントの実行委員をはじめ、地域住民が行う。設置するデザインは、地域住民に決めてもらうことで、参加者全員で会場を作り上げている。

イルミネーション点灯初日には、オープニングイベントを開催し、みんなで作り上げた灯りのもとでステージイベント等を行っている。



イルミネーション設置作業

②放課後子ども教室

公民館近くにある小学校の放課後子ども教室を運営している。子どもたちが「やってみたい」「もっと知りたい」と思えるような、きっかけづくりができるよう活動している。工作やスポーツ、自然、伝統文化など、多様なプログラムを準備し、子どもたちが自ら興味を持ち、挑戦し、学ぶ姿勢を育むことを大切にしている。また、放課後子ども教室の講師には、可能な限り校区内もしくはその近隣にお住いの方々に依頼するようにしており、地域で活動する団体や地域の大人たちとのふれあいをとおして、自分たちが暮らす地域に目を向け、その魅力や課題に気づくことができるようにしている。



放課後子ども教室

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

①イルミネーション設置ボランティア募集をしたり、オープニングイベントの開催周知を図ったりするため、公民館に来館する方や、小中学校に積極的に声掛けやチラシの配布を行った。公民館に来館することが少ない世代に対しては、ホームページへの情報掲載や、実行委員と協力し、SNSを活用することで、情報の周知を行った。

②子どもたちの興味や関心を十分に引き出すことができるよう、小学校や放課後児童クラブの先生方と意見交換を行い、活動内容についての助言やアイデアをいただいた。また、実際に活動へ参加する子どもに、どのような活動がしてみたいかを聞き、地域の大人が体験したり学んだりしてほしいことと、子どもたちが「やってみたい」「もっと知りたい」と思えることの擦り合わせを行った。



「きょうわイルミネ」チラシ

4. 取組による成果や効果

①イルミネーション設置作業からオープニングイベントをとおして、幅広い世代の地域住民が公民館に集い、交流することができた。イルミネーション点灯を楽しみにしているという声も多く聞かれ、地域の1つのイベントとして認識されるようになった。

②年々参加者が増加している。活動に参加した子どもたちが講師と積極的にコミュニケーションを取る様子も見られ、“子ども”と“地域”とのつながりのひとつのきっかけとなることができた。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

地域で活動されているボランティアグループの方や、地域企業の方々など多様なメンバーで構成される公民館運営審議会を年2回開催し、各イベントに関する取組の検証等を行っている。また、他公民館とも情報共有を行い、改善点や運営方法などについて意見交換をしている。



公民館運営審議会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

“全世代の交流拠点”となれるよう、学校や地域の団体などと連携を取り、公民館運営を進めていきたい。

より多くの人に情報を届けるとともに、多くの人の声を聴くことができるよう、デジタルツールを効果的に活用するとともに、これまでどおりの対面による繋がりを活用していきたい。



老人クラブによる公民館花壇整備

地域の絆を深める交流センターの挑戦:コロナ禍での新しい形のコミュニティづくり

山陽小野田市須恵地域交流センター(山口県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和62年 須恵公民館開設
- ・平成8年 須恵福祉社会館開設
- ・平成15年 優良公民館として文部大臣表彰受賞
- ・平成21年 地域委託型公民館運営
- ・平成27年 市教育委員会直営方式公民館運営
- ・令和4年 須恵地域交流センターとして業務開始
- ・令和5年 Wi-Fi設備設置



ZOOM講座

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 「ZOOM講座」は、コロナ禍で集まることが制限された令和3年にZOOMによる歴史講座を開催した時のものです。講師、ゲスト、視聴者は自宅で参加するかたちで、センターに誰も来ない講座を開催。
- 「夏休み寺子屋教室」は、毎年、地元の小学校児童の夏休み自由研究の支援として開催しています。3日間で延べ200人前後の児童が参加しています。講師は、小学校の教員、交流センタークラブの講師、理科大の学生及び地域の皆さんです。



夏休み寺子屋教室

公民館情報		1. 公民館対象人口	7817人	4. 利用可能時間	9:00~22:00
		2. 建物設置年月日	昭和62年3月	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	359日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民活動推進課)				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 4,224人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 17,895人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input type="checkbox"/> その他 人 ()				合計 22,119人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input type="checkbox"/> 非常勤 人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)				合計 3人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 (奇数月発行の地域の広報紙「ふるさと須恵」に交流センターの活動も毎回掲載している。)				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				

山陽小野田市須恵地域交流センター

OPEN 9:00~22:00 H P <https://sue-matikyo.jp>
 TEL 0836-83-3360 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

【ZOOM講座について】

・取組みを進める大きなきっかけは、令和元年頃からはじまったコロナ禍の数年間。地域住民の中には、コロナ感染を恐れる者や持病を持っているため、人が集まる場所には行くことができない者も多いた。講師自身もコロナ禍のため、来館して講義を行える状況ではない。しかし、地域住民の学びたいという思いは強く、センターとしてどうかその思いを叶えられないかと考えたのが始まりだった。

【夏休み寺子屋教室について】

・センター長として小学校の育友会役員と話をする中で、夏休みの宿題において、自由研究が負担になっているということを聞いた。育友会とセンターが協力し、社会教育施設として、保護者世代の困り感の解消と地域の学びの場の創出をしようと考えたことが、本事業のきっかけであった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【ZOOM講座について】

・歴史講座や人権講座を自宅で視聴できるようセンターのハード整備を行った。また、センター利用者のみに限らず、普段はセンターを利用することが難しい療養施設に対しても周知活動を行った。講師はJAXA筑波宇宙センター、網走監獄といった普段では話を聞くことができない方に依頼している。なお、今年度は沖縄の首里城、福井の恐竜博物館に講師を依頼している。



JAXA筑波宇宙センターから

【夏休み寺子屋教室について】

・地元小学校の教諭が担当する習字や絵画、センターの生涯学習クラブが担当するトルペイントやシャドーボックス、藍染め体験、山陽小野田市立山口東京理科大の学生が担当するプログラミング、地域の住民が担当する手芸や点字という多種多様な講座を開催している。また、地元の中学生もボランティアとして小学生をサポートするなど、地域一丸となって取り組んでいる。



寺子屋藍染め体験での力作

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【ZOOM講座について】

・高齢者をはじめとするICTの使用に苦手意識をもつ地域住民に使い方を覚えてもらうのはかなりの苦労があった。それでも、根気強く懇切丁寧に繰り返し説明すること続け、センターに誰も来ない講座を開催することができた。
・ZOOMの良さを最大限に生かすため、予算的に呼ぶことの難しい遠隔地の講師を招聘したり、複数の講師が一堂に会する講座を企画したりするなど、既存の集合形態では実現しにくい講座を企画している。

【夏休み寺子屋教室について】

・地元の小・中学校の教員やセンターに関わる講師だけでなく、地元の山陽小野田市立山口東京理科大の学生にも寺子屋教室に関わってもらうなど、地域の教育力を活用し、子どもたちにとって多彩な学びの場を実現している。小学校の教員には、教室を開催する期間内で延べ5,60名が講師や児童のフォローのため参加するなど、学校をあげた取組となっている。

4. 取組による成果や効果

【ZOOM講座について】

・ZOOM講座をきっかけとして、以前よりも多種多様な講座やイベントに参加できるようになったことで、地域住民の学習意欲を喚起するとともに、興味・関心の幅を広げるきっかけになっている。また、ICTを利用することで、地域住民の情報活用能力も向上している。

【夏休み寺子屋教室について】

・住民の困り感解消のためにセンターが寄り添うことで、地域課題の解決に貢献するとともに、子どもから大人まで活動に巻き込むことで、地域の生涯学習振興の一助となっている。地域の多様な立場の人から学ぶことで、児童の社会性が育まれ、コミュニケーション能力や他者との協調性も向上しており、生涯学習クラブを講師とすることで、学んだ知識を地域社会において活かすなど、「知の循環型社会」の構築にも寄与している。



センターまつりで中学生スタッフ

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

・ZOOM講座の参加者からアンケートを取り、参加人数や満足度と言った数値から、よりニーズの高い講座の実現に向けて、継続や廃止の判断を行っている。
・寺子屋教室に参加した児童や保護者からのニーズ調査を行い、毎年内容の見直しを行っている。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

・ICTを活用することで、来館が難しい方でも気軽に参加できる講座づくりを行っていききたい。家庭、学校、企業、各種施設へのオンライン配信を行うなど、地域の生涯学習振興に寄与するセンターにしたい。
・寺子屋教室をきっかけに、普段はセンターをあまり利用しない若年層の来館機会の増加につなげたい。子どもから大人まで幅広い年代にとって、満足できる学びの場であると同時に、居心地のよいセンターを実現したい。



ロビーに集まってくる子供達

気軽に立ち寄れる地域拠点を目指して

鳴門市瀬戸公民館(徳島県)

公民館の沿革・年表

- 昭30・7 旧板野郡瀬戸村役場(木造2階建)を使用し、市内4館目の公民館として瀬戸公民館を創設。
- 昭44・3 老朽化のため、鉄筋コンクリート造2階建に改築。瀬戸出張所と併設
- 昭57・4 現在の場所に鉄筋コンクリート造2階建の独立公民館として新築。落成祝賀行事を開催
- 平成4・5 創設10周年を記念し、記念式典等を開催
- 平成7・6 瀬戸地区自治振興会が組織される
- 令和5・4 せとの子ども食堂・親子塾開始

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

「せとの子ども食堂・親子塾」開始により、これまで高齢者の利用が主体であった公民館に親子が加わった。学校との連携も深くなり、さまざまなイベントが開催されるようになった。

地域のランドマークとなっている冬季のイルミネーション。設置は地域の方が手作業で行い、寒空の中を優しい明りが照らし、道行く人にも安心感を与えている。



子どもたちでにぎわうクリスマス会



夜空を優しく照らすイルミネーション

公民館情報	1. 公民館対象人口	3,901	4. 利用可能時間	9:00~17:00
	2. 建物設置年月日	昭和57年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
	3. 開館日数	243日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	無し
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 139人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 6,367人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2,247人 <input type="checkbox"/> その他 人 ()	合計		8,614人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 0人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人) 合計 2人			
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()			
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 (人権教育、子ども食堂、高齢者の学び支援)			
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (地域のにぎわいづくりと人権学習の拠点としての公民館)			
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (明神幼稚園、明神小・中学校、鳴門教育大学、瀬戸地区自治振興会・老人会・婦人会・社会福祉協議会、鳴門シーガル病院、鳴門市 など)			

鳴門市瀬戸公民館

OPEN 9:00~17:00 H P _____
 TEL 088-688-0485 SNS _____

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

鳴門市瀬戸公民館が所在する瀬戸地区は市北部に位置し、瀬戸内海国立公園の景勝地であり、島田島と鳴門公園の周遊ルートとなる鳴門スカイラインや地域の拠点性が高い工業地である鳴門複合産業団地が整備されている。水と緑が豊富であり、土地区画整理事業により都市基盤が整った良好な住宅地が形成されている地区もあるが、山際の限られた平地に住宅が密集した特徴的な漁村集落や島嶼部があることによる集落間の距離の遠さなど、人口減少・少子高齢化と共に、地域コミュニティの維持や防災対策への課題が生じている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【地域のにぎわいづくりと人権学習の拠点としての公民館活動】

1. 地域のにぎわいづくりの拠点として

地域の拠点として、地域住民を始めサークル団体や利用者が気軽に寄り合えるように、さまざまなイベントを開催している。特に、令和5年度から始まった子ども食堂「せとの子ども食堂・親子塾」では、子どもだけでなく、その保護者も気軽に参加できるよう工夫している。通常の子ども食堂に加え、お祭り大会やけん玉塾、地元大学、小中学校の吹奏楽部・金管バンドによる演奏会、地域住民によるマジックショー、ヒーローショーなど、内容や連携・協力先も多岐に渡り、地域のにぎわいづくりの一翼を担っている。また、食糧支援が必要な方のためにフードパントリーを実施するなど、地域で助け合う体制づくりにも寄与している。冬にはイルミネーションを設置し、季節に応じた活性化策も展開している。

2. 人権教育の拠点として

毎年秋に、地元の幼小中や地域住民、地域活動団体、企業と協力し、瀬戸地区人権文化祭（瀬戸地区人権教育推進協議会主催）を開催している。「しあわせあふれるまちづくり」をテーマとし、住民の標語や書道、写真といった作品を展示した。地域の各団体の協力を得て、差別を見逃さず許さない人権感覚を身につけようと、公民館を拠点とした人権教育啓発の活動に積極的に参加している。



おいしく食べて地域を元気に



地元中学校による演奏会

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

地域の拠点として、地域のにぎわいを作り出し、人権教育の場を提供することで、地域住民にとって暮らしやすい環境を作り上げる役割を担っている。多様なイベントを開催することで、地域住民・老若男女が気軽に集まれる公民館を目指しているほか、差別を許さない人権感覚を養うことで、地域全体の人権意識の向上に努めている。

取組については多様な団体等と連携・協力体制が必要であることから、横のつながりを大切にしている。自治振興会や婦人会等の地域団体、また、利用者との会話の中で「いいな」と思ったことは実践できないか考えるとともに、他団体へも提案・協力し、点で取り組んでいたものを地域全体を巻き込む面として広げることができないか検討するようにしている。



様々な団体の作品が並ぶ人権文化祭

4. 取組による成果や効果

「せとの子ども食堂・親子塾」実施前は、サークル団体等高齢者が主体となった活動が主であったが、子ども食堂を実施していく中で、子どもやその保護者の参加が増え、三世代交流が図られるようになった。また、地元の団体や行政等と連携したイベントを併せて実施することで、地域交流にもつながっている。令和6年度における参加人数は計1,990人で、公民館を拠点として地域の活性化が図られている。人権文化祭においても、子どもから大人まで計227人が参加し、それぞれの作品を見ながら交流することで、人権の大切さを地域から発信している。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

自治振興会、老人会、婦人会、社会福祉協議会、地元の小中学校、企業等と連絡・協議を重ねる中で、地域のニーズを確認しながら、多くの地域住民が参加して安全で楽しいまちづくりに取り組めるようにしている。



地域一斉清掃

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

「全ての方が気軽に立ち寄ってくれる公民館」となるために、子どもから高齢者まで幅広い年代の住民が、地域活性化に参画しやすい開かれた公民館となれるよう努めたい。



スマートフォン教室

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

住吉・城東公民館が所在する徳島市の住吉・城東地区は、住吉神社(1623年遷座)、蓮華寺(1633年寺町より移転)や藩政の松などの歴史的建造物があり、5つの川に囲まれ特に国内でも有数の吉野川住吉干潟もある自然豊かなところである。また、高等学校1校、小学校1校、保育園2園がある文教地区ともいえる。平成19年10月に徳島市30番目の公民館として新設され、「歩いて通える学びや仲間づくりの場」として地区住民に親しまれている。若い世代、男性、中年層の参加を促すため、それらの層にとって魅力的な活動を取り入れていくことが課題になっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

○子どもたちの居場所づくり

主に夏休みに 新聞ドームづくり、木育教室、こどものための音楽会、秋にアートワークなど小学生や幼稚園児を対象に行っている。(内容は毎年変わる)

○地元への愛着の心を育てる

徳島市内では小学校区で「二十歳を祝う会(成人式)」を開催している。式典では地域の様子、生まれた年、20歳の年に起こった出来事や小学校時代の卒業アルバムなどの画像を視聴。会場の外は地域のボランティアがお正月の花で彩り、入り口は学習活動で制作した折り紙作品を飾りつけ、地域挙げてお祝いムードを演出している。一生に一度の成人式、地域への愛着の心や様々な人に支えられて今日が迎えられていることを実感する機会としている。

○高齢者の生きがい・健康づくり

ふれあい教室・すくらむ学級としての講座(年間6~7回)、ピンコロ健康教室(毎週木午後)、太極拳講座(念15回程度)、スポーツウエルネス吹き矢講座(月1回)などを開催し、学習活動や健康づくり、仲間づくりに取り組んでいる。

○防災

防災に関する講座を少なくとも年1回は取り入れ、また年4回発行している「広報住吉城東」においても防災意識向上のため毎回防災に関する記事を取り上げている。



こどものための音楽会



折り紙作品

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

○公民館で行っている講座の学習活動に参加するだけでなく、そこで培ったことを何らかの形で地域に貢献できるよう、学びを活かす機会の提供を行う役割を果たしてきた。地域住民で子どもたちを支援する学校サポーターズクラブなどは代表的な取組である。

○学習活動が終わると必ず学びの内容を報告書として作成し、公民館の掲示板に掲示したり、ホームページや広報紙等にも掲載し、地域住民に紹介をしている。



掲示板による学びの報告

4. 取組による成果や効果

活動に参加することで地域の中での仲間づくりが拡がり、住民の絆が深まってきている。また学校サポーターズクラブや地域学遊塾などで子どもたちとの活動を通して、挨拶や会話が交わされ、日常生活の中で子どもたちとの交流する機会が増え、高齢者の励みや喜びとなっている。また、それらの活動が子どもたちの見守りの一役を果たしていると思われる。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

年3回公民館運営委員会を開催し、その都度事業報告・計画について意見をいただいている。特に3回目は年間の事業報告とその掲示報告を参考に反省点、課題、次年度の展望について話し合っている。



運営委員会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

令和7年4月1日から住吉・城東地区町づくり協議会に統合されるが、これまで以上に地域住民のニーズに合った学習活動に取り組んでいきたい。特に年代に関係なく「子育て支援」にみんなに関り、子どもたちと一緒に笑顔で楽しく過ごせる地区を目指して取り組んでいきたい。



木育教室

夢・元気 ギュッ! と大保木

西条市大保木公民館(愛媛県)



竹伐り体験



かずらでカゴ作り体験

公民館の沿革・年表

- 昭和47年 大保木公民館開設
- 昭和47年 大保木出張所開設
- 平成29年 里山の生活体験教室 事業開始
- 令和 3年 愛媛県公民館連合会会長表彰受賞 (優良公民館)
- 令和 4年 愛媛県教育委員会教育長・愛媛県公民館連合会会長連名表彰受賞 (優良公民館)
- 令和 4年 大保木出張所廃止、大保木市民サービスコーナー開設

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 里山の生活体験教室 (竹伐り体験)
地元住民へのアンケート調査(現在困っている事)で最も意見の多かった農作物の鳥獣被害による対策の一環として、放置竹林の竹伐りを継続事業化した。
- 里山の生活体験教室 (かずらでカゴ作り体験)
地元住民が事前に準備した「かずら」を使ってカゴ作りを体験する。蓑づくりの第一人者でもある御年99歳の方も、講師として今も元気に活躍されている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	123人	4. 利用可能時間	8:30~22:00
		2. 建物設置年月日	昭和47年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	354日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	5台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 757人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 599人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,114人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 2,309人 (高校登山部愛媛県大会・四国総体等)				合計 6,779人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 0人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)				合計 4人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大保木公民館協力委員会)				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・ディバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (自然あふれる環境の中に地元住民や大保木地区出身者が心地よく集える場となっている。)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (大保木地区連合自治会、社会福祉協議会、青少年健全育成協議会、西条市内外高等学校、NPO法人西条自然学校、石鎚ふれあいの里、山の駅運営委員会)				

西条市大保木公民館

OPEN 9:00~17:00 H P <https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoku/ohuki-index.html>
 TEL 0897-59-0226 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 大保木地区は、西日本最高峰の石鎚山の麓に位置し、人口123名、世帯数72世帯の限界集落である。かつては、林業を中心に栄えていた。小・中学校が廃校になって約30年が経ち、「**子どもの声呼び戻したい**」という**地域の声が高まった**。
- 本館は、大保木地区出身者も参加するサークル活動や伝統行事が活発に行われているが、高齢化・人口減少が進み、それらを若い世代に伝える機会が少なくなってきたことに公民館職員、住民ともに危機感を募らせていた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【里山の生活体験教室 [大保木土曜教育]（体験活動）】

・上記の課題を解決するために、**地元住民との交流を通じて里山の生活を体験し、地元住民の生きがいづくりにつなげることを目的に**、平成29年から本事業がスタートした。講師は主に地元住民が務め、里山ならではのテーマで体験学習を行う。

「山こんにくづくり体験」

大保木で育てた山こんにくづり芋を使った山こんにくづくり体験。丸めた山こんにくづりを茹でている間は、山で採れたお茶で一休み。山の素朴な味を堪能することができ、**地産地消も体験できる活動となっている**。

「薪割りと薪を使ったご飯づくり体験」

NPO法人 西条自然学校と連携し、**斧を使った薪割りを体験する**。自分たちで割った薪は、炊き釜を使って、ご飯を炊いておにぎりにしていただく。

「畑仕事体験～大根を育ててみよう～」

地元住民指導のもと、畑を耕し、大根の種を蒔き、時期を置いて間引きや草引きをして世話をしながら大根を収穫するまでの一連の畑仕事を体験する。また、収穫した大根の一部は、大保木地区文化祭のバザーで参加者の高校生が販売している。



山こんにくづくり体験



薪割り体験と薪を使ったご飯づくり



畑仕事体験
～大根を育ててみよう～

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【里山の生活体験教室（体験活動）】

- ・チラシを作成して**市内の高校を直接訪問し、参加者を募集した**。
- ・地元住民への講師依頼、消耗品類の調達、関係団体との連携・調整を行った。

【ふれあい運動会・敬老会（世代間交流活動）】

- ・**地元住民のみでの運営は困難であるため、大保木地区出身者とその親戚の子どもたちや、里山の生活体験教室の参加者である高校生に協力を呼び掛けて運営を行っている**。
- ・敬老会では、75歳以上の高齢者一人一人への感謝メッセージを職員が朗読し、日頃の感謝を伝えることで、**次回も参加したいと思ってもらえるような工夫をしている**。その後の昼食は、参加者全員で西条名物の芋炊き鍋を囲み、余興に伝統芸能のなぶりこ(獅子舞)を子どもと大人と一緒に披露することで、世代間交流を促進している。



ふれあい運動会・敬老会



4. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（里山の生活体験教室）】

- 高校生との体験活動は、子どもや若者がほとんどいない大保木地区の住民にとって、**新たな生きがいづくりにつながった**。
- 山に笑顔の声が高まったように**なった。
- 市内の高校生の引率で参加した教員の方が、市外の高校へ異動した後も異動先の高校生を連れて参加してくれており、**市内外へ大保木の魅力が広がった**。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 自治会関係者等で構成する公民館協力委員会を随時開催している。
- 活動ごとの振り返りや次回への改善点等を参加高校の教員や講師を交えて議論し、多様な意見等を踏まえながら検証・改善を行っている。



公民館協力委員会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

里山の生活体験教室を継続して実施し、**大保木地区のソーシャル・キャピタルを高めていきたい**。

今後も地域コミュニティの拠点施設として、地元住民の生きがいづくりのお手伝いをしていきたい。



土曜教育

「また明日」公民館での合言葉

四国中央市関川公民館(愛媛県)



みらいの関川を考えようアンケート報告会



桜まつりコンサートでの真鍋豊平一絃琴保存会による演奏

公民館の沿革・年表

- ・昭和25年 関川村役場と併設で公民館となる
- ・昭和30年 公民館に主事を配置
- ・昭和32年 館報せき川 第1号発行
- ・昭和34年 出張所を廃止し独立館となる
- ・昭和57年 現在の建物が完成(6月1日より開館)
- ・平成20年 優良公民館表彰受賞
- ・令和3年 みらいの関川を考えようアンケート実施
- ・令和4年8月1日 みらいの関川を考える会設立総会
- ・令和7年4月1日 四国中央市直営となる

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 「みらいの関川を考えようアンケート報告会」
令和3年館報せき川434号に掲載した「5年後、10年後の私たち」という記事から、少子化の現状を知った運営委員が発した「自分たちに何かできることがあるのでないか。」という声から住民を中心とした地域づくり団体結成へとつながった。
- 「桜まつりコンサート」
令和6年3月に開催した「桜まつりコンサート」の様態。毎年、名物である100歳越桜の開花時期に地域住民が中心となった演奏会を開催している。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2,508人	4. 利用可能時間	8:30~22:00			
		2. 建物設置年月日	昭和25年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)			
		3. 開館日数	356日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	10台			
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()							
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1,460人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	6,100人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	2,500人	合計 12,650人	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	2,590人	(地域づくり団体・自治会各種団体等)					
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	2人	<input type="checkbox"/> 兼任	人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	1人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	人
	(職員のうち社会教育士の数 1人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)						合計 3人	
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()							
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()							
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 地域防災・減災	<input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 体験活動				
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input type="checkbox"/> 日本語教育の推進	<input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援				
	<input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動	<input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動	<input type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり	<input type="checkbox"/> 子育て支援				
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 社会人の学び直し				
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (地域活性化事業(地域づくり団体と協働))								
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター							
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (2階に放課後児童クラブ(貸館)があり、子どもから大人まで毎日利用するアットホームな館である。)							
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学				
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関				
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他				
関川小学校・土居中学校・土居高等学校・関川地区連合自治会・関川葬具管理組合・関川地区社会福祉協議会・関川婦人会・関川ボランティアコスモス会・いきいき教室・みらいの関川を考える会・あつまれせきいにゃ広場・四国中央市・四国中央市教育委員会								

四国中央市関川公民館

OPEN 8:30~17:15 H P <https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/soshiki/34/3599.html>
 TEL 0896-28-6363 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 当地区は、令和7年3月末時点での高齢化率が44.2%という、四国中央市内の中でも少子高齢化が進む地域の一つである。少子高齢化の他にも耕作放棄地や空き家、獣害被害等、様々な地域課題を抱えているが、地域を挙げて協議する機会がなかった。
- 昭和から平成にかけて地域活動の中心を担ってきた各種団体も高齢化が進み、後継者育成の課題も浮上している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【地域のことを自分たちで考えてみよう（その他：地域活性化事業）】

- 令和3年の館報せき川434号に掲載した「5年後、10年後の私たち」という記事内で**近い将来、小学校児童数が50人以下となる予測**であることを打ち出し、地域の今後の在り方を考えていく上で、地域課題アンケートを実施したところ、多くの意見が寄せられた。それらを踏まえ、**課題解決に向けての地域づくり団体「みらいの関川を考える会」が発足した。当会は、買い物支援としての移動スーパー誘致事業や未婚者婚活支援事業の他、学生ソーシャルビジネスプランコンテスト、せきがわフェス2024等、様々な活動に取り組むとともに、地域課題について考える機会を大切にしている。**



移動スーパー駐車場検討会議

【地域の人活躍する仕掛けづくり（伝統文化継承活動）】

- 「桜まつりコンサート」や「真鍋豊平一絃琴演奏会」「敬老会」などで、**積極的に地域住民が演奏する機会を提供している。**また、公民館見学での体験など、地域の伝統文化に触れ、地域への愛着が湧くような事業展開を意識している。



公民館見学での演奏体験

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【地域のことを自分たちで考えてみよう（その他：地域活性化事業）】

- アンケートから会の設立を公民館主体で行い、現在の住民主体の運営においても**地域住民が立ち上がったからと手を放すのではなく、継続して職員も関わり、地域づくりをする上で必要となる「人と人をつなぐ」パイプスの役割を公民館が担っている。**また、館報での情報発信や座談会企画など、団体の活動が地域へと周知できるように協力している。



地域住民との座談会

【地域の人活躍する仕掛けづくり（伝統文化継承活動）】

- イベントの余興などには、積極的に伝統楽器の継承と保存に努めている「真鍋豊平一絃琴保存会」に出演を依頼するなど、活躍する場を提供している。

4. 取組による成果や効果

【地域のことを自分たちで考えてみよう（その他：地域活性化事業）】

- 毎月1回程度定例会を行い、情報交換を通して日々変化する地域課題への関心を維持する。
- 積極的に事業を周知することでメディアに取り上げられ、地域内外からの関心を得ることができた。

【地域の人活躍する仕掛けづくり（伝統文化継承活動）】

- 伝統楽器「一絃琴」体験を公民館見学で実施することで演奏を始めた児童が増加し、地域への関心・愛着を持つきっかけとなった。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

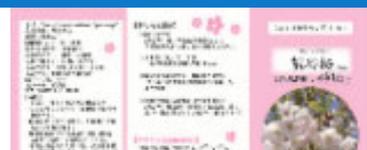
- 各事業の実施、終了後のミーティングや来館者との交流を通して、対面での参加者、協力者の率直な意見を大切にしている。また、改善点だけでなく、成功したと思われたことでも次年度の実施の際には改めて検討するように努めている。



連合自治会長会での情報交換

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 地域住民が安心して気軽に「**集い、学ぶ、結ぶ**」ことができる交流の場としての公民館の役割を担うとともに、多世代交流を促進し、自ら地域課題へと向き合う機会を提供する仕掛けを継続する。地域の様々な資源を公民館から情報発信し、地域への愛着心を深める手助けをする。



地域名物「伊予熊谷」の情報紙

地域のまんなか、私たちの元気な公民館

八幡浜市立神山地区公民館(愛媛県)



満員御礼！公民館まつり



神山の春をよぶ さくら祭り

公民館の沿革・年表

- ・昭和25年に神山尋常小学校講堂を利用して、神山地区公民館が発足。
- ・昭和47年4月1日より、八幡浜市立神山地区公民館建屋が完成。五反田自治公民館と陽だまりの部屋も併設した建物として事業を展開。
- ・平成17年4月1日より、現在の神山地区公民館として移転並びに建物を建築し、現在に至る。
- ・**昭和34年には第1回神山地区公民館まつりを開催。(令和6年度で42回目)**

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

～主要行事のうち、来場者の多い二つのお祭り～

- 【公民館まつり】
子育て世代に喜んでもらえるよう、綿菓子や蛇口ポンジュースを無料で提供している。50円くじやかき氷も人気である。
- 【さくら祭り】
春うららかな陽気のもと、地区の公園の緑地にてフラダンスや和太鼓などのパフォーマンスが披露される。キッチンカーなどが軒を連ね、来場者はお花見を楽しみながら、思い思いの時間を過ごした。

公民館情報		1. 公民館対象人口	3,965人	4. 利用可能時間	9:00～17:00
		2. 建物設置年月日	平成17年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無し
		3. 開館日数	363日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3,406人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 13,168人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 800人 <input type="checkbox"/> その他 人 ()				合計 17,374人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)				合計 3人
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (開館時間以外であっても利用可能となるよう努めている。)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (八幡浜工業高等学校、八代中学校、神山小学校、神山こども園)				

八幡浜市神山地区公民館

OPEN 9:00～17:00 H P

TEL 0894-23-0688

SNS https://www.instagram.com/ka.mi.ya.ma_kouminkan/



KAMIYAMA_KOUMINKAN

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

当館は、年間多数の主催行事を行っている。その中でも、公民館まつりや観月会、さくら祭りは、来場者数の多さからも、**地域住民に大変好評な行事**であることが分かる。普段の会話から住民の関心や課題を把握したところ、**住みやすいまちづくりや、次世代への持続可能な循環**を生み出すことが課題であることが分かった。好評な行事を通してこれらの課題を解決したいと考えた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【公民館まつり（取組全体）】

●当地区では、地域の主要な行事として毎年6月に、来場者数800名を超える公民館まつりを開催している。例年、20を超えるブースを館内外に設け、飲食・雑貨等の店舗が参加している。公民館主体の出店と、地域活性化を狙った地元企業の出店を併用し、子供から大人まで幅広い客層のニーズを満たしている。令和5年度からは、周辺の道路部分も使用許可を取り、**出展者等の規模を拡大することで来場者の混雑緩和**を図った。館内ではステージ発表や展示等の催しも行われ、**公民館利用者の貴重な発表の場**となっている。



公民館まつりの様子

【観月会・さくら祭り（取組全体）】

●当地区には、地域住民が集う「王子の森公園」がある。SL機関車やトロのトンネルで近年、SNS等でも話題を集めている場所となっており、当館では、屋外イベントの会場として、秋の観月会や春のさくら祭り等を行っている。神山地区の六つの自治公民館を含む役員慰労会の目的で始まった観月会ではあるが、今では**様々な団体が集う地域交流の場**として参加者には好評である。また、観月会ならではの名物、自家製芋炊きも参加者には大変人気があり、日頃の公民館活動をねぎらう場としても喜ばれている。



観月会の様子

●春のさくら祭りでは、昨年第4回目を迎え、和太鼓や沖縄三線のパフォーマンスが会場を盛り上げた。**年々来場者数は増加**しており、神山の春を呼ぶ一大イベントとして定着してきている。

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【公民館まつり・観月会・さくら祭り】

●**地域住民の集いの場**としての役割に加え、**地域活性化を目指し**公民館をきっかけに様々な「こと、もの」をつなぐ役割を果たしている。公民館まつりでは、地域支援活動や子供たちの放課後等のデイサービスを行う企業も出店しており、利用者による手作りの温かい作品販売などが来場者の人気を集めた。**誰もが輝き活躍できるまちづくり**を推進している。



大人気の手作り作品販売

【公民館まつり】

●予算面では、60社を超える協賛企業からの寄付により、安価な販売価格と充実した祭りの運営を実現している。まつりの協賛広告を神山地区に全戸配布し、イベントの周知徹底に努めている。

4. 取組による成果や効果

●このような盛大なイベントを年に数回行うことで、地域住民が**公民館を身近に感じ、他の行事にも積極的に足を運んでくれるようになった。**

●公民館行事をきっかけに、**新たなコミュニティに参加し、住みやすいまちづくりや、次世代への持続可能な循環を生み出そうと意欲を持つ**地域住民が増えた。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●地区主事会を毎月開催し、行事の企画・運営・検証について詳細にわたり議論した後、運営審議会に諮り、事業方針を決定している。

●**対話を大切に**考え、公民館の取組について直接参加者に感想を聞くようにしている。繰り返し行うことで、改善点も遠慮なく伝えてくれるようになった。



運営審議会の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

定着した主要行事に加え、年間約30回開催される主催行事の中で、**参加者発信型の事業**を展開していきたいと考えている。具体的には、参加者が職員と共に企画や運営に関わる機会を増やし、参加型コンテンツを導入するなど、行事の一部において主体的に活動できる時間を設けることを目標として取り組んでいきたい。



三世交代交流会の様子

地域とともに子どもを育み伝統文化を守る

松山市久枝公民館(愛媛県)



手作りのみこしで伝統行事「川狩り」を模擬体験



正月飾りや御札などを燃やす「どんど焼き」で無病息災を祈念

公民館の沿革・年表

- ・昭和28年 久枝公民館設置(事務所は久枝農協内)
- ・昭和36年 久枝公民館(事務所は松山市久枝支所内)
- ・昭和58年 第1回ふるさとめぐり開催
- ・昭和61年 久枝公民館新築落成
- ・平成12年 「久枝地区の文化と伝承」冊子作成
- ・平成15年 学社融合事業(久枝っ子フェスティバル(現 稲作体験等体験事業) 毎年実施開始)
- ・平成16年 久枝地区体育祭での「久枝音頭」復活
- ・平成19年 「子ども川狩り事業」開始

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

地域の高齢者や地方祭で活動する団体の協力を得て、**子どもたちが伝統行事を体験することで、将来のコミュニティ作りの主体となるよう事業を実施している。**

- 子ども川狩り事業…久枝小学校4年生児童が校区内の安城寺町に古くから伝わる伝統行事を「安勝会」の協力で模擬体験させている。
- 稲作等体験事業…食の原点米作りの田植えから稲刈りまでをみどり小学校5年生児童が体験し、どんど焼きを同小学校と久枝小学校の2年生児童に体験してもらっている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	19,009人	4. 利用可能時間	9:00~22:00
		2. 建物設置年月日	昭和28年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		3. 開館日数	359日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	250台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,400人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 8,500人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 3,300人 <input type="checkbox"/> その他 人 ()				合計 13,200人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input type="checkbox"/> 非常勤 人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)				合計 4人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (松山市久枝支所) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (久枝地区町内会連合会、久枝地区高齢クラブ連合会、安勝会、久枝地区まちづくり協議会、久枝小学校、みどり小学校、鴨川中学校)				

松山市久枝公民館

OPEN 8:30~17:15 H P <https://www.matsuyama-peopie.jp/region/hisaeda/>
 TEL 089-924-8628 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

●久枝地区は、松山市の北西部に位置し、かつてはのどかな田園地帯であった。現在は北部に農業地域が残っているものの、地区中心部はスーパーや工場等が立地する商業地域として発展し、南部はマンションや住宅が密集する住宅地域となり、転入者が増加したため、スポーツ行事などで新旧住民の交流に努めてきた。

●しかし近年、地域住民の交流はますます疎遠となり、公民館の文化行事やスポーツ行事の参加者も減少・固定化傾向にあり、地区内の歴史や史跡、古くから歌われている久枝音頭の中に登場する特産物などの記憶も忘れられようとしている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【子ども川祭り事業（取組全体）】

愛媛県公民館連合会が令和4年5月に「公民館版SDGs」として公民館を発展させるための16の目標を定め、当館においても目標達成をめざして事業を実施している。特に1.「人づくり」のため幼少期から地域への愛着を育み、13.「伝統・文化」を継承・保存し、人材育成や、豊かな自然、固有の歴史や伝統、文化等の魅力を住民や外部に発信するための事業の一つとして、子ども川祭り事業がある。川祭りは、ふんどし姿の男たちが神輿を川に入れ、神輿を清め豊作を祈願する行事である。川の水質悪化のため途絶えていたものを平成19年度から川に隣接した川祭り会場を設けて、学校での総合的な学習の時間を通して、自然環境と地域の伝統行事の継続として子どもたちが模擬体験している。

【稲作等体験事業（取組全体）】

日本食の原点である米作りの田植えから稲刈りまでを、地域の高齢者の指導のもと子どもたちが体験することで、**農家の人の苦労や願い**、食への感謝を学んでいる。昔ながらの田植えの仕方だけでなく、最新の農機具に農家の人と一緒に乗って作業することで、**勤労や生産活動の楽しさも味わってもらい、就農意欲の向上**も図っている。小正月（1月15日）の前後には、田んぼに竹でやぐらを組み、稲を脱穀してできたワラを積み上げ、正月飾りや児童が自分の願い事をつけた飾りや御幣を乗せて燃やし、櫓のまわりを「どんどや、どんどや…」の声を出しながら回り、家内安全、無病息災などを祈る火祭り行事を実施している。



神輿の団体「安勝会」の「川祭り」



昔ながらに手で田植えをする児童

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【子ども川祭り事業（取組全体）】

「安勝会」と連携し、総合的な学習の時間の中で、子どもたちが川祭りの歴史や由来、伊勢節を学んだり、手作り神輿を制作したりすることで、**川祭りへの理解や参加への意欲を高めている**。また、マスコミ等を活用し、積極的に取材・放送し、情報提供に努めている。**地区内はもとより、地区外の住民にも伝統文化や行事の周知を図っている**。

【稲作等体験事業（取組全体）】

地区高齢クラブ連合会と連携し、稲作体験やどんど焼き体験に、**豊かな知識・技術・経験を有する地域の高齢者にも関わってもらうようにしている**。

○両事業において、**公民館主事が地域団体や学校等の各関係機関をコーディネートし、計画的且つ地域と連携を重視した事業運営に努めている**。



「安勝会」のメンバーによる神輿のかき方の指導

4. 取組による成果や効果

【各事業による成果・効果】

- 体験学習を通した**子どもたちの「伝統・文化」への理解促進及び環境保全への関心の高まり**
- 「伝統・文化」を通した**地域アイデンティティの確立やコミュニティ意識の向上**
- 子どもたちとの交流を通した、**高齢者の生きがいの充足の推進**
- 小学校での盆踊り講習会を通した、地区体育祭の**久枝音頭への参加者増及び郷土愛の醸成**

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●各体験学習を実施する前には、必ず学校と連携して事前学習と事後の感想や意見の取りまとめをしている。なぜその行事が昔から行われてきたかを知ったうえで体験し、考えることが生きる力を育むことにつながる。感想は次年度の事業の改善に活用するだけでなく、**協力してくれる高齢者の意欲**にもなっている。



お年寄りと一緒に稲刈り体験

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

●地域とともに未来を拓く「人づくり」を進め、「伝統・文化」を守っていくために、ソーシャルメディアが発展しているからこそ重要性が増している体験学習を一層支援していきたい。コミュニティ・スクールなど学校との協働活動や、防災組織と連携した地域防災拠点としての機能強化、健康増進への取組がますます求められていると考える。



健康づくりウォーキングは雨でも盛況

外海の資産を生かす講座と地域行事への参画

長崎市外海公民館(長崎県)



外海の潜伏キリシタン



外海ふれあい広場

公民館の沿革・年表

- ・昭和46年 外海中央会館として開館
- ・平成17年 市町村合併により外海公民館と改称

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 公民館講座「外海の潜伏キリシタン」の様相
令和6年11月開催の講座で「大野教会堂」を訪れた時の様子。世界遺産への登録もあり、出津集落や大野集落、黒崎地区を中心とする潜伏キリシタン関連講座の人気度は高い。
- 外海地域の行事「外海ふれあい広場」の様相
令和6年11月開催の「外海ふれあい広場」での舞踊団体の発表の様子。外海地区の文化団体や小学校などが参加している。社会福祉協議会外海支部が取り組んでいる地域行事であるが、公民館が企画・運営の中心を担っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2932人	4. 利用可能時間	9:00~22:00
		2. 建物設置年月日	昭和46年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	298日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 385人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1,692人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 575人 ()				合計 2,652人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)				合計 6人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (こどもから高齢者まで集える談話室があり、夏はクーリングシェルターとして活用している)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				

長崎市外海公民館

OPEN 9:00~17:00 H P
TEL 0959-24-0460 SNS

<https://www.city.nagasaki.lg.jp>

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 公民館の利用者数とともに、講座への参加者も年々減少傾向である。そこで「つどう・まなぶ・むすぶ」公民館に向けて、外海ならではの魅力を生かす講座の充実を図り、公民館活動の活性化と利用者数の増加を目指している。
- 外海地区は、少子高齢化の傾向も著しく人口減少が進んでいる。そのため、地区間の交流に大きな役割を持つ地域行事の担い手が少なくなっている。そこで、各世代間の交流と親睦を図り、明るい地域社会づくりの一助とするとともに、これからの社会を担う青少年に目を向け、地域一体となった健全育成を図っていききたい。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【外海の資産を生かす講座（取組全体）】

外海地区は、潜伏キリシタン関連遺産をはじめ、歴史や文化、自然にかかわる施設や環境などに恵まれていることから、それらを生かした以下のような講座に力を入れている。

- ①外海の潜伏キリシタン（出津集落、大野集落、黒崎地区の教会や関連施設巡り）、②県民の森自然観察（季節の草花や木々、さわやかな風のもとでの自然観察）、③池島炭鉱坑内体験（トロッコでの坑内巡り、坑内機器の模擬操作）、④大中尾棚田散策（棚田の歴史、自由散策や水源見学）、⑤外海の食材でランチタイム（地元で採れたゆうこうでパンやゼリーを作って楽しくランチタイム）、⑥遠藤周作の文学と歩み（文学館設立の経緯や遠藤周作の生涯：R7秋より）

【地域行事への参画（地域学校協働活動）】

社会福祉協議会外海支部と外海地区民生・児童委員協議会により「外海ふれあい広場」を開催している。地域の活性化に大きな役割を担っており、公民館が企画・運営の中心となっている。

令和5年度に3年ぶりに再開した「外海ふれあい広場」は、神浦小学校創立150周年記念式典との合同開催であったため、外海地区外からの多くの出演を募り大規模となった。しかし、実行委員の高齢化等などにより、無理なく継続した開催を第一に再考し、昨年度は「公民館の自主学習グループや公民館講座」、「外海地区内で活動している文化・芸能等の団体や個人」、「外海地区内の3小学校」を発表団体とした。



池島炭鉱坑内体験



小学生ダンス講座の発表

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【外海の資産を生かす講座（取組全体）】

講座の周知は、生涯学習企画課発行のチラシやホームページの他、公民館だよりを自治会の班内で回覧していた。令和6年度秋講座からは公民館だよりの自治会加入の全世帯への配付とともに、外海地区外からの受講者には郵送で案内した。また、市防災行政無線も利用した。申込方法では、原則として往復ハガキのみであったのを窓口や電話、FAX、Eメールも可能とし多様化を図った。

【地域行事への参画（地域学校協働活動）】

地域行事（外海ふれあい広場）の中心は、社会福祉協議会や民生児童委員協議会であるが、役員減少や高齢化のため、公民館が企画・運営の事務局として取り組んでいる。実行委員会の開催や出演者の募集・集約、実施要綱の作成、会場準備計画などの一切を担っている。令和6年度からは神浦小学校が学校行事の一環として参加することとなり、運営面での大きな力となった。

「外海公民館だより」秋の講座のご案内

講座名	講師	日時	備考
池島炭鉱坑内体験	池島炭鉱	10/11(日) 10:00-14:00	池島炭鉱坑内体験。体験型講座。申し込み要。10名まで。1000円。10歳以上。雨天中止。
外海の食材でランチタイム	公民館	10/11(日) 10:00-12:00	外海の食材でランチタイム。公民館主催。申し込み不要。10名まで。1000円。10歳以上。
遠藤周作の文学と歩み	遠藤周作文学館	10/11(日) 10:00-12:00	遠藤周作の文学と歩み。遠藤周作文学館主催。申し込み不要。10名まで。1000円。10歳以上。
池島炭鉱坑内体験	池島炭鉱	10/11(日) 10:00-14:00	池島炭鉱坑内体験。体験型講座。申し込み要。10名まで。1000円。10歳以上。雨天中止。
外海の食材でランチタイム	公民館	10/11(日) 10:00-12:00	外海の食材でランチタイム。公民館主催。申し込み不要。10名まで。1000円。10歳以上。
遠藤周作の文学と歩み	遠藤周作文学館	10/11(日) 10:00-12:00	遠藤周作の文学と歩み。遠藤周作文学館主催。申し込み不要。10名まで。1000円。10歳以上。
池島炭鉱坑内体験	池島炭鉱	10/11(日) 10:00-14:00	池島炭鉱坑内体験。体験型講座。申し込み要。10名まで。1000円。10歳以上。雨天中止。
外海の食材でランチタイム	公民館	10/11(日) 10:00-12:00	外海の食材でランチタイム。公民館主催。申し込み不要。10名まで。1000円。10歳以上。
遠藤周作の文学と歩み	遠藤周作文学館	10/11(日) 10:00-12:00	遠藤周作の文学と歩み。遠藤周作文学館主催。申し込み不要。10名まで。1000円。10歳以上。

公民館だよりの一部

4. 取組による成果や効果

【外海の資産を生かす講座（取組全体）】

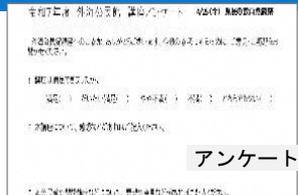
取組前（R5～6春：14講座）と取組後（R6秋以降：8講座）を比較した。周知と申込方法の工夫により、申込者数の1回平均は8.4人から21.0人へと大幅に増えた。講座への満足度の「満足」、「だいたい満足」の割合は以前から高く、取組後も98%であった。

【地域行事への参画（地域学校協働活動）】

発表団体を外海地区内としたため、出演依頼や連絡・調整が容易であった。内容では、合唱や舞踊、ダンスなど多様であり、特に小学生の学習発表やダンスなどは好評であり、地域住民へ元気を届けた。参加者は約130人であり予想を大きく超えた。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

外海の資産を生かす講座では、現場での生の声を聞くとともに、講座アンケートにより「満足度」や「講座の感想、要望」を調査し、企画・運営に役立てている。講座の満足度や感想は良好であるが、要望や否定的な意見を真摯に受け止めている。地域行事への参画では、計画段階から実行委員会での意見を聞きながら取り組み、当日の参観者の声や実施後の反省会を次へ繋げている。



6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

「つどう・まなぶ・むすぶ」外海公民館であるために、地区の交流拠点としての役割を果たせるように取り組んでいく。具体的には、外海の伝統料理の継承や人材を活用する講座、遠藤周作に関する講座など、外海の資産を生かす講座の開発や充実を更に図りたい。また、高齢者が多いことから、健康に関する講座にも力を入れるなどして、地域住民が集い、楽しめる場となるようにしていきたい。



人材の活用

めざそう! あいさつ世界一

中津市三光コミュニティセンター(大分県)



児童会代表の挨拶運動宣言



毎月8日の三光あいさつ運動

公民館の沿革・年表

- 昭和55年 三光公民館開設
- 平成17年 旧中津市と旧三光村が合併
- 平成29年 三光公民館にて「めざせあいさつ世界一」運動開始
- 平成30年 あいさつ看板の設置、あい八くん誕生
- 令和元年 「あいさつ運動ポスター」の募集
- 令和3年 三光コミュニティセンター新設
- 令和4年 「あい八音頭」誕生及び普及開始
- 令和6年 大分県公民館連合会優良公民館表彰受賞

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 児童会代表の挨拶運動宣言
児童会・生徒会代表が挨拶運動宣言をし、学校、子ども、保護者、地域住民があいさつ運動の意義を共有する会を毎年1回開催。(学校にあいさつ応援隊が訪問)
- 毎月8日の三光あいさつ運動
毎月、8日を「三光あいさつの日」と定め、域内1中学校4小学校で、あいさつ応援隊や自治委員、地域住民、児童生徒会役員が横断幕等を持って、あいさつ運動をしている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	4,826人	4. 利用可能時間	9:00~22:00
		2. 建物設置年月日	令和3年9月22日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	308日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 760人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 11,118人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 80人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 16,904人 (三光図書館7,076人・児童館9,828人)				合計 28,862人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input type="checkbox"/> 非常勤 人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)				合計 2人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地域福祉・医療 (乳幼児健診))				
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (社会福祉協議会 児童館) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (中津市内全体の乳幼児健診を実施している。)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (めざせ三光あいさつ世界一実行委員会)				

中津市三光コミュニティセンター

OPEN 8:30~17:45 H P <https://www.city-nakatsu.jp/doc/2019061400085/>
 TEL 0979-43-2032 SNS なし

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 三光公民館の地域づくりに関する調査では、「旧中津市と三光村合併後、各組織のつながり、人と人とのつながりが希薄になった」「自治公民館同士の横のつながりがなくなってきている」などの課題が出された。
- 本館は、以前から地域の4つの小学校とは連携ができていたが、中学校とは連携ができていなかった。令和3年度から地区中学校がコミュニティ・スクールとなることをきっかけに、公民館活動や地域の子どもの見守り活動に参加する地域団体が増え始めた。しかし、地域住民の中学校への関心が薄い。
- 公民館活動や地域の子どもの見守り活動に参加する中で、あいさつをしてもあいさつが返ってこないという声が地域から聞こえるようになった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【めざせあいさつ世界一運動（取組全体）】

- 上記の課題から、三光コミュニティーセンターに公民館機能が移ってから「めざせあいさつ世界一実行委員会・三光コミュニティーセンター運営委員会（公民館運営審議会）」を中心にあいさつ運動を継続している。他にもあいさつ看板の設置、あいさつ運動標語、あいさつ運動ポスターの募集をするなど地域に様々な形で周知している。

【毎月8日三光あいさつ運動（地域学校協働活動）】

- 毎月8日「三光あいさつの日」には自治委員、民生委員、児童委員、地域住民等各小中学校の校門前や通学路に、あいさつ運動の横断幕とあいさつ運動標語入りのぼり旗を持って「あいさつ」運動を実施している。児童生徒会の子ども、教職員も一緒にこの活動に参画するようになり、学校教育との協働的な協育活動を行っている。

【あい八音頭の普及啓発（世代間交流活動、地域学校協働活動）】

- イメージキャラクターについて、小中学生から名前を公募し決定した「あい八くん」と、それにちなんで創作した踊り「あい八音頭」を指導する講座を三光コミュニティーセンターや学校、各自治区で開催し、学校の運動会や各地の盆踊りなどで披露している。踊る時に使用する「あい八くん」の団扇や被り物を作成し、子どもや住民に配布して「あい八音頭」の普及啓発を行っている。



毎月8日の三光あいさつ運動



あい八音頭の様子（小学校運動）

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

- 【めざせあいさつ世界一運動（取組全体）】●あいさつ看板の設置：域内の自治公民館を中心に看板を設置し、広報、周知を図った。●「あいさつ運動標語」「あいさつ運動ポスター」の募集（隔年）：小中学校、地域の住民や学生に公募し、優秀作品を表彰している。優秀標語は、のぼり旗にして域内の各所に設置し、「あいさつの日」に使用。ポスターの優秀作品は、企業、商店、公共施設等に掲示し、地域に周知している。

- 【毎月8日三光あいさつ運動（地域学校協働活動）】●運営委員会（年2回）、めざせあいさつ世界一実行委員会（毎月1回）であいさつ運動の方法等について熟議したり、次年度に向けた計画を立てたりしている。「あいさつ」運動の前日と当日には、地域放送を利用し、地域住民に対してあいさつ運動参画を促す声かけをするなど、三光コミュニティーセンターが中心となって運営を行っている。

- 【あい八音頭の普及啓発（世代間交流活動、地域学校協働活動）】●「あい八音頭」で使用する「あい八くん」モチーフの団扇・被り物を作成し、公民館長と実行委員が地元企業等を1社ずつ訪問し、協賛をいただき、各所に配布した。



三光中学校区ネットワーク会議

4. 取組による成果や効果

- 【めざせあいさつ世界一運動（取組全体）】●子どもから大人まで世代間交流が進むとともに住みよいまちとして、まちの魅力が高まった。
- 【毎月8日三光あいさつ運動（地域学校協働活動）】●地域住民と小中学生とのあいさつ、コミュニケーションが増加した。●公民館活動を通じて住民同士のつながりが生まれたことをきっかけに、新たな事業を立ち上げ子どもと大人との対話の場が生まれた。
- 【あい八音頭の普及啓発（世代間交流活動、地域学校協働活動）】●コミュニティーセンター来館者数が増加し、特に子育て世代の親、小・中学生等の若年層の公民館活動への参加者が増加した。●郷土愛の醸成につながった。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学識者や自治会関係者、学校関係者、PTA関係者等21名で構成する三光コミュニティーセンター運営委員会（公民館運営審議会）を年2回実施している。また、めざせ三光あいさつ世界一実行委員会（10名）を月1回開催し、現状や課題、活動の振り返りや次回への改善点等を議論し、検証・改善を行っている。（月に1回検証アンケートをとり、調査結果を掲示、公民館だよりで配布し周知している。）



三光コミュニティーセンター運営委員会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 三光コミュニティーセンターを三光地域の地域づくりの拠点とし、あいさつ運動をさらに広げ、定着させ、学校、家庭、地域が協働して地域課題を解決していく機運を高めたい。●この運動を通して地域ぐるみで子どもを見守り育む重要性を実感できたことから、今後、三光地域のことを住民がさらに学び、魅力子どもたちに伝えることで、将来、故郷三光に誇りをもち、地域で活躍する大人を育てていこう、三光コミュニティーセンターが核となり学校、家庭、地域の協働によって進めていきたい。



三光魅力発見プロジェクト講座

学び・つどい・つながる 松元公民館

鹿児島市松元公民館(鹿児島県)



マラカスの会



幼稚園児と職員の交流

公民館の沿革・年表

- ・昭和57年 松元町立中央公民館として開設
- ・平成15年 一部増築(エレベーター設置等)・改修
- ・平成16年 市町村合併により鹿児島市松元公民館に改称
- ・令和2年 大規模改修工事
- ・令和3年 リニューアルオープン

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 「マラカスの会」の様子
不登校児童生徒の保護者の悩みを共有できる場所として、「マラカスの会」を月1回開催している。進学先や学校との連携について参考にできる話題も多く、相談しやすい拠り所となっている。また、不登校児童生徒が学習室で学習したり、ホールでピアノを弾いたりして公民館で過ごす様子も見られる。
- 乳幼児親子向けふれあい講座の様子
図書室ボランティア「茶々の会」による絵本の読み聞かせと工作活動、外部講師による音楽と簡単な動きを組み合わせた講座を月1・2回実施し、好評を得ている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	18047人	4. 利用可能時間	8:30~22:00
		2. 建物設置年月日	昭和57年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		3. 開館日数	357日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	200台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,212人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3,600人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2,776人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 46,372人 ()				合計 53,960人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 6人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 0人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人)				合計 7人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input type="checkbox"/> その他 ()				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (館内バリアフリー(エレベーター、車いす用スロープの設置等)、図書室、託児室、授乳室)				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (鹿児島市立科学館、鹿児島市立少年自然の家、かごしま環境未来館、市聴覚障害者協議会、松元中学校、松陽高校、松元地域自主学習グループ連絡会、校区まちづくり協議会(松元・石谷・東昌・春山)、図書室ボランティアグループ「茶々の会」、鹿児島日韓文化交流会)				

鹿児島市松元公民館

OPEN 8:30~22:00 H P https://www.city.kagoshima.lg.jp/kvoiku/kvoiku/syogaigaku/shisetsu/shozai_020.html
 TEL 099-278-1312 SNS <https://www.instagram.com/syogaigaku/>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 鹿児島市の中でも人口の増加が顕著で、特に**40歳代・30歳代の子育て世代の人口が多い**地域である。しかし、町内会の加入率が低く、様々な情報が行き届きにくいという課題がある。
- 住民の生涯を通じた**学習意欲は高く、複数講座の受講や繰り返し受講**する利用も見られる。長期的な運営の視点に立った場合、**次代を担う新たな利用者の開拓が必須**である。そのため、地域住民の様々な世代の**学習ニーズを考慮した館の運営や環境整備、関係機関との連携**等により、生きがいづくり、地域づくりへとつなげていくことが求められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【地域で学ぶ公民館～ヒト・モノ・コト及び利用者の声を生かした講座の展開～(世代間交流)】

地域住民の**学びのニーズに応える講座づくり**を目指し、利用者の声を積極的に取り入れた**共創型の講座展開**に取り組んでいる。公民館運営審議会での話題をきっかけに、**地域人材や自主学習グループを講師として活用した講座**を設けたり、まちづくり協議会の活動場所で**移動講座**等を行ったりするなど、**地域における生涯学習を支援**することに貢献している。



地域住民を活用した講座【陶芸】

【地域が集う公民館～子育て世代が利用しやすいために～(家庭教育支援)】

年代別人口で多くを占めている40歳代と30歳代の子育て世代が利用しやすいよう、**託児室の整備、親子講座の実施、託児付き講座の拡大**等に取り組んでいる。図書室においても、本を通じた親子のふれあいを支援できるよう、**親子読書スペースを設置**したり、**定例のおはなし会を実施**したりしており、図書室利用の促進にもつなげている。また、松元地域の人口増加に伴い、不登校児童生徒も増加していることから、**保護者が悩みを共有できる場所**として、令和5年より「**マカスの会**」を月1回開催している。



常設された託児室

【地域をつなげる公民館～関係機関との連携～(地域学校協働活動)】

地域にある4つの**まちづくり協議会と自主学習グループをイベント等を通してつなぎ**、地域の要望をもとにした地域貢献活動を自主学習グループが行っている。また、季節の行事での**幼稚園との連携**や、公民館まつりでの**高校生ボランティアの参加**や**演劇部の出演**など、地域内の学校等と連携することで**児童生徒が活躍できる場を設定**している。

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【地域で学ぶ公民館～ヒト・モノ・コト及び利用者の声を生かした講座の展開～】

自由に書き込める掲示板やアンケートで利用者のニーズを調査した。また、公民館運営審議会からの意見をもとに「**行きたくなる公民館**」を掲げて**運営**を行った。

【地域が集う公民館～子育て世代が利用しやすいために～】

親子でゆっくり過ごせるよう**託児室や親子読書スペースの設営を工夫**し、**常に開放**している。「マカスの会」では、児童生徒も来館できるよう**職員全員で支援**を行った。

【地域をつなげる公民館～関係機関との連携～】

公民館まつりでは、地域内の学校等に出演やボランティア参加の**意向調査**を行った。また、**まちづくり協議会長からの要望に応じて自主学習グループを紹介**したり、行事に参加したりするなど**地域のハブ**の役割を果たした。



高齢者クラブクリスマス会へのプレゼント提供

4. 取組による成果や効果

- ニーズに応じた講座の開設等が**公民館活動の認知度と利用者数の増加**に繋がり、**リピーターも増えて**きている。
- **親子講座の応募率が2倍に、おはなし会の参加者数が1.5倍**になるなど、親子での公民館利用が増えている。また、保護者だけでなく、**不登校児童生徒が短時間でも社会とつながることができる場所**となってきている。
- 自主学習グループとまちづくり協議会の連携により、**自主学習グループ会員の意欲向上**に繋がった。公民館まつりでは、**2,000人以上**の参加者があり、**地域で活動している団体や地域の文化に触れるよい機会**となった。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学校関係者、社会教育関係者、家庭教育関係者、学識経験者6名で構成する**公民館運営審議会を年2回開催**して、諮問事項について得られた意見を事業改善に生かしている。
- 事業や講座の参加者にアンケートを実施し、得られた意見等を踏まえて次回の企画・運営を改善しており、**PDCAサイクルを意識した公民館運営**を行っている。



親子によるおはなし会の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

高齢化や町内会の加入率低下などの課題を抱えている。自主学習グループはもちろんのこと、地域人材や関係団体等を巻き込みながら**包括的な学習機会を提供**できるような活動を展開していきたい。また、学校の学習成果発表会を地域に開かれたイベントとして公民館が共催するなど、**若い世代を公民館活動等に取り込み**、松元地域ならではの**新たな松元公民館のブランド化**を図りたい。



県文化財課との連携講座

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 開間校区は、薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開間岳の麓に位置している。数多くの史跡や神話が存在しており、その継承活動が盛んな地域である。公民館が主催する講座の中でも、特に歴史に関する講座については、身近な歴史に触れられることから、地域住民だけではなく校区外からの参加もあり、学びと共に交流の場ともなっている。また、**多種多様な講座の運営**にも力を入れており、年齢を問わず参加できる講座を企画している。
- 人口減少や少子高齢化等の課題を抱えながらも、「**子どもは地域の宝**」という理念の下、校区の住民全員で育んでいこうという気風があり、学校や家庭、地域の住民が連携し合って様々な取組を進めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【多種多様な講座運営（社会人の学び直し）】

- 開間の**歴史をテーマとした生涯学習講座**を平成22年度から開催している。多種多様な講座の中でも特に人気があり、校区内外から市民が参加し、座学だけではなく**フィールドワーク**を通して実際に史跡を訪れることで、歴史を身近に感じながら学ぶことができる。
- 「書に親しむ」と「気軽に楽しむ色鉛筆画」では、**目標を文化祭や生涯学習フェスティバルでの出展に設定**することで、参加者が熱心に集中しながら作品作りに励んでいる。
- 夏休み中には「絵画教室」、12月には「ガーデニング教室」なども行い、季節にちなんだ講座を実施し、様々な学びの場を提供している。



多種多様な講座
「絵画教室」

【地域性を生かした地域学校協働活動の推進（地域学校協働活動）】

- 地域の子どもを住民全員で育んでいこうという気風の中、**校区公民館主事が地域コーディネーター**となって様々な関係団体等と連携を図り、**地域学校協働活動を推進**している。その中でも学校応援活動においては、多くのボランティアの協力を得ながら、学校のニーズに応えた支援を行っている。その活動は多岐にわたり、開間小学校では田植えや校区内史跡・歴史講話、毛筆指導、ミシン補助など、各ボランティアが得意分野を生かし、ボランティア自身も子どもとの交流を楽しみながら活動をしている。他にも、いぶ好き「ふるさと学」小中一貫授業では、伝統芸能指導、方言指導、史跡巡り（フィールドワーク）の教育活動を支援している。
- 放課後子ども教室**は、毎月隔週の月曜日に実施している。他校区では将棋や折り紙などの活動が多い中、開間校区放課後子ども教室では、ボランティアの提案で、子どもたちとクレープやおにぎり、いも餅作りなどの活動もしている。



学校応援活動
「ミシン補助」

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【多種多様な講座運営（社会人の学び直し）】

- 作品を作るだけでなく、**文化祭や生涯学習フェスティバルに出展することを目標**にし、実際に成果を披露し、その成果が評価されることで生涯学習の仕組みづくりが図られるようにしている。

【地域性を活かした地域学校協働活動の推進（地域学校協働活動）】

- 学校応援活動のひとつである校区内史跡・歴史講話では、**次世代に継承**するとともに郷土を愛する心を育むことを目的としている。
- 放課後子ども教室では、ボランティアの提案も採用し、**子どもたちが普段なかなか経験**できないことも活動に取り入れて運営している。



出展に向けて集中
「気軽に楽しむ色鉛筆画」

4. 取組による成果や効果

【多種多様な講座運営（社会人の学び直し）】

- 歴史をテーマにした生涯学習講座では、長年受講した受講生が次の講師として活躍されており、**次世代の継承者が育成**されている。

【地域性を活かした地域学校協働活動の推進（地域学校協働活動）】

- 地域学校協働活動を通じて伝統芸能の継承、世代間交流が図られている。
- 放課後子ども教室では年度最後にアンケートを実施しており、令和6年度は**93%の児童が楽しかった**と回答している。その理由として、「いろいろな経験ができる」、「みんなと遊べる」が半数以上をしめており、ボランティアとの交流が活発に行われたことがうかがえる。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 公民館の事業の改善を図るために、**開間校区公民館運営委員会**において、委員や生涯学習課の指導・助言を受けながら、運営や成果について点検・評価を行っている。指導・助言に対しては、館長・公民館主事が中心となり、改善に努めている。
- 地域学校協働活動に関する内容については、**開間小学校校区学校応援団協議会**で行っている。
- 講座終了後にアンケートを実施しており、次の活動の運営に生かしている。また、講師やボランティア人材確保のため、小学校やPTA役員経験者、文化協会など**地域の関係団体とのつながりを強化**し、生涯学習まちづくりのネットワークを拡充するよう努めている。



いぶ好き「ふるさと学」
郷土芸能指導（開間龍宮太鼓）

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

人口減少・少子高齢化など地方独自の課題に加え、地域住民の声を拾い上げ、そのニーズに応えるような講座等の企画運営を行ってきたい。また、様々な公民館活動を通じ、学校や地域と連携し相互の親睦を深め、活力ある公民館づくりを図ってきたい。



活力ある公民館づくりを目指して

WakuWaku さあ はじめよう!

天城町防災センター(生涯学習推進室)(鹿児島県)



講座「男の料理教室」



閉講式(作品展示の部)

公民館の沿革・年表

- ・昭和48年 天城町中央公民館開設
- ・昭和49年 公民館学級開講
- ・平成8年 第1回O S O S運動運動推進会議
- ・平成18年 第27回町民文化祭・公民館講座合同閉講式
- ・平成25年 町川柳会講座創設30周年記念大会
- ・平成28年 **中央公民館閉館式・生涯学習推進室開室**
- ・令和元年 県民大学講座・県立博物館がやってくる
- ・令和3年 みやまふれあいコンサート(霧島国際音楽祭)
- ・令和5年 教育文化の町推進大会

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

○令和6年度**新規開設講座**「男の料理教室」
 男性の受講生が少ないことが課題であった。町食生活改善推進委員の方々の御協力を得て開設した。米のとぎ方が初めての受講生やエプロンがうまく着けられない受講生などハプニング続きであったが、優しい講師の先生方の御指導で全員修了することができた。(受講生は20代~70代)
 ○令和6年度生涯学習講座閉講式(作品展示)
学習の成果の発表の場として、毎年閉講式を開催している。舞台発表部門と展示部門に分かれて発表した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5460人	4. 利用可能時間	8:30~22:00	
		2. 建物設置年月日	平成29年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)	
		3. 開館日数	306日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	7,435人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	14,593人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	3,000人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1,445人	(子ども食堂6回×130)			合計 26,473人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	4人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	2人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	3人
	(職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)					合計 9人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()					
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災	<input checked="" type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 体験活動		
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語教育の推進	<input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動	<input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動	<input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	<input checked="" type="checkbox"/> 社会人の学び直し		
	<input type="checkbox"/> その他 ()					
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (防災・各種会議や研修会・展示会等)				
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学		
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他		
	(天城町役場・天城町議会・各自治公民館(14集落)・地域女性団体協議会・老人クラブ連合会・各駐在所・O S O S運動推進委員会(14集落)・文化協会・闘牛協会・各小中学校(9校)・樟南第2高等学校・各保育所等(4保育所・1幼稚園)・PTA連絡協議会・子ども会連絡育成協議会・連合青年団・民生委員・体育協会・社会福祉協議会・各事業所等(建設業・金融業・農協・漁協等))					

天城町防災センター(生涯学習推進室)

OPEN 8:30~22:00

H P <https://www.town.amagi.lg.jp/kurashi/shogai/>

TEL 0997-85-2258

H P <https://yui-amagi.sakura.ne.jp/bousai/bousai.c.html>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 公民館事業・講座の参加者は、若い世代も増えつつあるが、全体的に高齢者の割合が高い。さらに若い世代の参加を進めて公民館活動のよさを体験させ、各自治公民館活動へつなげていく必要がある。
- 今年度から町内小中学校がコミュニティ・スクールとなることをきっかけに、各自治公民館や各種団体との連携を深め全町民の生涯学習の中核となる中央公民館をめざして取り組んでいく必要がある。
- スマホ教室などデジタルコンテンツ等の講座の要望が高い。新規講座や研修会等の事業開発が必要である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【生涯学習講座の充実（取組全体）】

- 子供たち限定の5講座があり、特に、「結シアター手舞」は、国民文化祭時に結成され、本町の文化面で対外的にも大きな成果を上げている。講師の先生と育成会・後援会が結成され、今年度10周年記念公演を開催する予定である。
- 生涯学習推進室運営委員会や講師会等で、後継者育成・新規講師の発掘について意見交換を行ったり、地区市町村研修会等で情報交換を行ったりした。



閉講式舞台発表

【町内学校との連携やO S O S運動に向けての取組（取組全体）】

- 各小中学校の探求学習の充実に向けて小学校宿泊学習を実施して、防災食の試食や宿泊を通して防災について学んだ。また、中学校や高校の文化祭を実施して子どもたちの学習の成果発表の場となっている。
- O S O S運動の推進について町教育文化の町推進会議の基本目標に、主な施策として「家庭づくり・学校づくり・地域づくり・O S O S運動」に取り組んでいる。本生涯学習推進室では、特に自治公民館長研修会やO S O S運動推進会議の運営を中心にO S O S運動の推進に取り組んだ。また、町を4つのブロックに分けて2年に1回推進大会を実施している。今年度は、発表の年で各協議会ごとに活動内容（4施策）「テーマ」を決定し、目標達成に向けて取り組んでいる。



宿泊学習（防災教室）

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【生涯学習講座の充実に向けて（取組全体）】

- 新規講座開設や新規の講師の募集について、町内有線テレビや告知放送を活用して呼びかけたり、生涯学習推進室だよりで講座生の募集を行ったりした。
- 講師会では、講座運営や開・閉講式に向けての共通理解を図ったり、課題等についての意見交換や質疑・応答などを行ったりして研修を深めた。
- 運営委員会では、毎回成果と課題について議論を行い、運営に活かした。

【O S O S運動の推進に向けて（世代交流活動）】

- 自治公民館長研修会で、O S O S運動の意義や子どもたちへの効果等について研修を深めたり、各集落の実践発表を行ったりして実践意欲を高めた。



自治公民館長研修会

4. 取組による成果や効果

【これまでの取組全体による成果と効果】

- 新講座等の開設により、男性受講生が増えた。（青壮年以上男性受講生；R5年度〈42名〉・R6年度〈71名〉）
- 令和7年度は、新規講座を6講座開設することができ、全37講座スタートとなった。（R6年度比；5講座増）
- 「O S O S運動」の啓発や研修会を充実させることで、O S O S運動表彰の推薦や推進意識が高まりつつある。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 生涯学習推進室運営委員会（委員6名）を年に3回実施して取組の検証・改善に努めている。主な事業や生涯学習講座等について成果と課題を説明して、いろいろな角度から御意見をいただき、学習講座や事業改善に活かしている。
- 生涯学習推進室実績報告書を作成し、次年度への改善に活かしている。



社会教育各種合同委員会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 生涯学習講座が各自治公民館活動に広がっていく手立てを工夫していきたい。
- 自治公民館活動の充実を図り、全町民によるO S O S運動の推進を図りたい。
- 総務課や社会教育課以外の課とも連携を深めて、公民館活動のさらなる充実に向けて取り組んでいく必要がある。（デジタルコンテンツ等の新規講座開設）



子宝六調バンド

たえまなく かがやきながら
くり広げられる まなび舎

鹿屋市高隈地区交流促進センター(鹿児島県)



地域内の幼児から中学生までが参加するお田植え行事の様子



地域の方々と触れ合いながらの稲刈り行事の様子

公民館の沿革・年表

- 平成 9年 高隈地区交流促進センター開館
- 平成17年 合併により市役所高隈支所が高隈出張所へ
- 平成26年 高隈出張所長が交流促進センター館長を兼務
- 平成27年 高隈地区コミュニティ協議会設立
- 平成29年 鹿屋寺子屋事業「Waku×2たかま塾」開始
- 令和元年 高隈地区コミュニティ協議会事務局長を交流促進センター職員が兼務
- 令和 2年 鹿屋寺子屋事業「大黒寺子屋塾」開始

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 上部写真: お田植え行事 左: 小学生 右: とも園
 - 下部写真: 稲刈り行事 中学生
- 高隈地区交流促進センターが行っている**3校PTA合同の取組**の中でも反響が良い活動の一つである休耕田活用の田植えと稲刈りの写真である。
- 就学前から中学生までの地域の子供たちと地域住民が協力**し米を作りながら、稲作のこと、自然のこと、また、地域の顔を知り、近所の皆が知り合いとなる環境作りが図られており、このことは**社会教育人材を活用した学校教育における探求的な学習との連携・協働**そのものであると考えている。

公民館情報	1. 公民館対象人口	1291人	4. 利用可能時間	8:30~22:00
	2. 建物設置年月日	平成9年4月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	3. 開館日数	359日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	200台
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,324人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3,278人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 367人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 8,817人 (体育館及びロビー利用、生涯学習発表会等)			合計 13,786人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input type="checkbox"/> 非常勤 人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人)			合計 3人
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()			
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 (鹿屋寺子屋事業、高隈地区コミュニティ協議会事務局)			
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (体育館・グラウンド・高隈出張所) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()			
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (高隈こども園、大黒保育園、高隈小、大黒小、高隈中、3校PTA合同委員会、鹿屋体育大、子ども育成会、アジア太平洋農村研修センター、民児協、高隈地区コミュニティ協議会、市役所各課、(株)オキス)			

鹿屋市高隈地区交流促進センター

OPEN 8:30~22:00 H P <https://www.city.kanoya.lg.jp/cyukouminkan/takakuma.html>
 TEL 0994-45-2001 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 当センターは、その敷地内に市の出張所機能、体育館、グラウンド、別管轄で加工センターを有し、講座、サークル、趣味、会議、スポーツ、食品加工等で集い、交流できる場となっていることが強みである。
- 地域住民の当センターへの関心が高く、生涯学習に対する意欲も高い。
- 当センターは、「地域が子供と学校を応援すること」を大きな柱として掲げる高隈地区コミュニティ協議会の事務局を担っている。職員が地域のハブとしての役割を果たし、地域全体が一つとなった活動を展開することにより、地元愛の醸成を目指している。
- 平成27年に生涯学習推進協議会の機能も包括した「高隈地区コミュニティ協議会」が発足している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【地域ぐるみの生涯学習活動（地域学校協働活動）】

市民講座、短期講座、同好会の内容充実、地域内2か所で行っている寺子屋事業（放課後子ども教室）の円滑な運営、コミュニティ協議会と連携した活動に取り組んでいる。

センター所長が、地域学校協働活動推進員として学校運営協議会に参画し、地域と学校が一体となった取組を推進している。



かのや夏祭りへの参加



盆釜行事で火をつける様子

【お田植え行事、稲刈り行事】

こども園、保育園、小中学校が一堂に会し、田植えや稲刈り等を体験する。地元住民との触れ合いを通して、顔見知りになり、日常的な声掛けや見守りなどがしやすい環境づくりにつながっている。また、学校では米の育成過程の観察などを行うことにより授業への活用が図られている。

【盆釜行事】

地域住民と小中学生が集まり、以前はどの地区でも行われていた「盆釜」の体験を通して、子供たちにその由来等を伝え、地元の伝統に親しみをもち、地域文化への愛着を育む機会となっている。

【かのや夏祭りへの参加】

高隈チームとして3校PTA合同委員会を中心に企画・運営を行い、高隈コミュニティ協議会とも連携し毎年参加している。

【どろんごソフトバレーボール大会】

小中学校や地域住民に呼び掛けて、コミュニティ協議会が使用する水田で代掻きを兼ねて、ソフトバレーボール大会を行っている。

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【地域ぐるみの生涯学習活動（地域学校協働活動）】

【お田植え行事、稲刈り行事】 【盆釜行事】 【どろんごソフトバレーボール大会】

- 当センターは施設の機能が多く、地域との関係性が強いことを活かした連絡・調整機能を果たしている。
- 当センター職員が高隈地区コミュニティ協議会の事務局長を、同センターの専門指導員が同協議会の委員でもあることを生かして学校、地域の連携を促している。
- 歴代のセンター所長は地域行事や田んぼの管理のための畔払いなどに可能な限り参加する姿勢を大切にしていたり、学校にも寺子屋の機会もあり頻りに顔を出したりしており、地域や学校との信頼関係を良好に保ち、既存の強みの維持・強化に努めている。



市民講座的一幕
※コミュニティ協議会員である地域の方が講師を行うこともある。

【かのや夏祭りへの参加】

○当センターの専門指導員は3校PTA合同委員会の立役者を担っており、10年前から地域の子供やその家族の夏の一大イベントとして根付いている。他の当センター職員もサポートで参加をしている。

4. 取組による成果や効果

- 通常の公民館業務に併せて、当センターでは地域住民とこども園、保育園、小中学校が一体となった取組を、当センターと高隈地区コミュニティ協議会が連携しながら継続的に実施している。
- 地区住民の学習機会の拡充と学習内容の充実に努め、小中学校の児童生徒について地域住民が十分把握しており、児童生徒も地域住民の顔やセンター職員の顔を知っているなど、互いに顔の見える関係が築かれている。その結果、地域が一つになり、児童生徒の地元愛が育まれている。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 毎朝のミーティング等を活用し、各講座の振り返り等、講師との相談による内容の微調整を実施している。
- 高隈地区コミュニティ協議会の各部会では、地域、学校関係者、当センター職員などが集まって協議を行い、実施に向けて十分な連絡・調整を行っている。また、次年度に向けて関係者が集まり、会議を行うことで、前年度の取組を踏まえたブラッシュアップを図るなど、PDCAサイクルが確立された運営が行われている。



部会の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 今後も地域に根差した地元から愛される施設であり続けることを目指したい。
- 当センターは、高隈地区コミュニティ協議会及び3校PTA合同委員会や学校との良好な関係性を継続していきたいと考えている。
- 3校PTA合同委員会に対してはメンバーが年次的に変わっていくことから、現在の取組を理解し継続していけるように働きかけていく。



活動中の子供たち

(キャッチフレーズ) ♪いこうね いしみね たのしみね♪

那覇市石嶺公民館(沖縄県)

公民館の沿革・年表

平成8年6月1日 石嶺公民館、石嶺図書館、首里石嶺プール(愛称:石嶺文化スポーツプラザ)の開館式が行われた。
 平成8年7月15日～21日 開館を記念して「石嶺町文化まつり」(石嶺町文化まつり実行委員会主催)が開催された。
 平成8年12月13日 石嶺公民館利用団体連絡会が発足した。
 平成9年3月8・9日 第1回石嶺公民館まつりが開催された。
 平成12年10月23日 第53回優良公民館文部大臣表彰を受賞。
 平成12年12月10日 優良公民館文部大臣表彰受賞祝賀会が開催された。
 平成17年1月27日 那覇市教育委員会石嶺公民館は沖縄県那覇警察署長より感謝状を表彰された。
 平成17年5月29日 石嶺公民館開館10周年記念チャリティーコンサートが行われた。
 平成17年11月6日 石嶺公民館開館10周年記念講演会「琉球王国とアジアの交流」が行われた。
 平成17年12月10日 石嶺公民館開館10周年記念式典・祝賀会が行われた。
 平成29年2月26日 石嶺公民館開館20周年記念式典・祝賀会が行われた。
 令和7年6月1日 開館から30年目の運営。

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- ①新春もちつき交流会にて、もちをつく地域の子も達
- ②公民館まつりのオープニングで石嶺伝統エイサー会の演舞
- ③公民館まつりの青年世代によるミニライブ
- ④毎年、たくさん観客が集まる石嶺音楽祭
- ⑤地域の子も達がたくさん集まる公民館まつりの子どもフェスタ
- ⑥地域の子も達がたくさん集まるおもちゃ病院
- ⑦那覇市立小学校に導入されたコミュニティスクールの勉強会



公民館情報

公民館情報	1. 公民館対象人口	38,400人	4. 利用可能時間	9:00～22:00
	2. 建物設置年月日	平成8年6月1日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	3. 開館日数	343日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	64台
7. 運営主体	市町村教育委員会	指定管理者 ()	その他 ()	
8. 来館者数	学級・講座	3,494人	貸館、サークル活動	17,788人
	その他	7,969人	講演会、展示会等	622人
		自治会、公民館まつり等		合計 29,873人
9. 職員数	専任	6人	兼任	人
	非常勤	人	ボランティア協力者	人
		(職員のうち社会教育士の数 0人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)	合計 6人	
10. 予算	市区町村予算	委託金	自治組織等予算	寄附等
その他 ()				
11. 公民館運営審議会	あり	なし	その他	(那覇市社会教育委員の会議)
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	地域防災・減災	デジタル・デバイドの解消	家庭教育支援	体験活動
	地域学校協働活動	障害者の学び支援	日本語教育の推進	義務教育未修了者への支援
	伝統文化継承活動	世代間交流活動	子ども・若者の居場所づくり	子育て支援
	ボランティア養成	地域資源を活用したまちづくり	コミュニティ・スクール	社会人の学び直し
	その他	()		
13. 施設の特徴、魅力	複合施設	図書館	学校	生涯学習センター
	自由記述	(学校施設や給食センター、市営住宅が隣接して大変にぎやか)	その他	(市民プール)
14. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	幼稚園・保育所	小中学校	高校	大学
	企業	NPO	各種団体	行政機関
	図書館	博物館	青少年教育施設	その他

那覇市石嶺公民館

OPEN 9:00～22:00 H P <https://www.city.naha.okinawa.jp/shisetsu/bunka/kouminkan/isiminekouminkan/index.html>
 TEL 098-917-3447 SNS

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ① 那覇市首里石嶺町は、福祉施設（沖縄県総合福祉センター、包括支援センター等）や児童施設等も多いことから、通称「いしみな福祉村」とも言われている地域である。また、当館は、市営住宅や中学校、給食センター等の公共施設と隣接している。
- ② 地域愛が強く地域のつながりも強いので、ボランティア活動の協力が得られやすい。（毎年、地域での慰霊祭も行われている、フード寄付も多い）講座、イベント、美化作業、公民館まつり等へ積極的に参加してもらえる。
- ③ 図書館、プール、トレーニングルームとの併設施設（石嶺文化スポーツプラザ）となっていることから、利用団体とは別の個人の利用者、子どもの利用も多く、積極的にボランティア活動をしてきている方も多い。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【地域との連携事業、地域を知る事業】

- ・高齢者学級（ふくらしや大学）「いしみの歴史探検」、青年講座「石嶺歴史探訪」（慰霊の日には石嶺の史跡を探訪し、ゴールでは伊江別邸庭園内で開催される石嶺慰霊祭に参加する。）
- ・石嶺と沖縄戦（地域在住の戦争体験者を講師に迎え、体験談を語ってもらうとともに、地域の慰霊碑についての歴史を学ぶ）
- ・親子ふれあい教室「防災まち探検」（親子で一緒に地域を歩き、防災を意識したまち探検を行う。危険な場所や避難ルートを確認し、いざという時に備え防災マップを作成する。）
- ・石嶺児童園・石嶺小学校区まちづくり協議会・地域団体「北翔会」「旗頭保存会」と連携し、児童園において草刈り作業と炊き出し訓練を実施。
- ・新春もちつき交流会（石嶺小学校区まちづくり協議会、石嶺中学校区成人式実行委員会と協力し、毎年1月に開催。子ども、保護者、新成人他、地域住民の交流の場となっている。）
- ・年2回の美化清掃活動（公民館敷地の草刈り等）も、利用団体の協力を得て実施。

【ボランティアの団体・個人の活動と連携した、子どもの居場所づくりの推進】

- ・子ども食堂（ボランティア団体「なかもんち」「結華人（ゆいかんちゆ）」による活動）
- ・夏休みの居場所作り（アニメ上映会、学習ひろばの開催等）
- ・チームスバコ（20代の大学生等を中心としたボランティア団体。不登校支援事業「子どもスバコ」の開催（週2回）、食事支援パントリー（月1回）を実施）
- ・フードドライブ+（公民館で寄贈を受け付け、連携する那覇市社会福祉協議会へ提供）
- ・おもちゃ病院（市民ボランティアのおもちゃドクターにより月1回の開催）
- ・小学校区まちづくり協議会や社会福祉協議会等との連携で「子どもフェスタ」を開催



石嶺歴史探訪のゴールでもある伊江別邸庭園での慰霊祭



子ども食堂を行っている結華人



不登校支援事業を行っているチームスバコ

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【地域活動・会合等における公民館施設の積極的活用】

- ・小学校区まちづくり協議会や民生委員等、地域の集會事業に数多く利用されている。
- ・また、土・日や夜間に開催する大型イベント・集會事業等の際には、隣接する給食センターに協力を求めることにより、不足する駐車スペースを確保できている。
- ・自治会の広報用の印刷等に、公民館の印刷機が利用されることも多い。

【公民館内スペースの有効活用】大人から子どもまで無料利用できる場を設けたことから、児童・生徒も公民館を利用する機会が増えた。

- ① 広くはないが、玄関ロビーのスペースにテーブルと椅子を常設し、学習スペース・交流できる場とした。更にパーティションを設置することにより、個人で利用するハードルを低くした。



子ども達がたくさん集まった公民館まつり

4. 取組による成果や効果

保護者の同伴がなくとも、来館・利用する小・中学生が増えた。

- ・チームスバコによる子ども居場所づくり活動「子どものスバコ」を、毎週月曜日と水曜日の午後に定期開催することにより、定着してきた。卓上ゲームなど自由に楽しみ交流する場であるとともに軽食・デザートも提供。不登校の児童・生徒も含め、毎回、30人前後の子どもたちが参加してにぎわっている。
- ・空いている時間に無料で使える卓球台は子どもたちにも好評で、放課後や土・日の利用も多い。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・各講座の際にはアンケートを実施。好評で再開を望む声が多いことから、次年度に再度実施する講座も多い。また、講座からサークル活動～施設の定期利用につながる事例もあり。
- ・暴風雨時等の避難所としても活用されることから、老朽箇所等のリニューアルが必要。令和7年度は照明をLED化する工事を実施。今後の大幅な改修工事に向けて準備を進めているところである。



講座からサークル化した健康麻雀サークル

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- ・地域における子どもの意見反映・社会参画の拠点として、児童館、子どもの居場所など地域にある多様な居場所、教育・福祉等の各施設、子どもの意見表明支援や子どもの社会参画機会の提供を行う民間団体等との連携強化に取り組みます。
- ・地域の豊富な人材に協力を求め、引き続き、地域との密接な連携を進めていきます。



地域団体と連携し、行った防災炊き出し訓練



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



文部科学省総合教育政策局地域学習推進課

文部科学省HP

社会教育についてはコチラ⇒

